

平成 28 年度 子育て支援に関するアンケート調査

1. アンケート配布・回収数

	配布数	回収数	回収率
28年度	2,490	1,285	51.6%
27年度	2,480	1,038	41.8%
26年度	2,310	1,088	47.1%
25年度	6,000	3,618	60.3%
24年度	2,374	1,524	64.2%

2. アンケート調査対象者

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| (1) 公立・私立保育所 (409 部) | (2) 児童館 (673 部) |
| (3) 公立・私立幼稚園 (385 部) | (4) 認証保育所 (30 部) |
| (5) 公立・私立学童保育クラブ (303 部) | (6) 認定こども園 (341 部) |
| (7) 家庭福祉員 (94 部) | (8) 小規模保育事業所 (15 部) |
| (9) 子育てひろば (240 部) | |

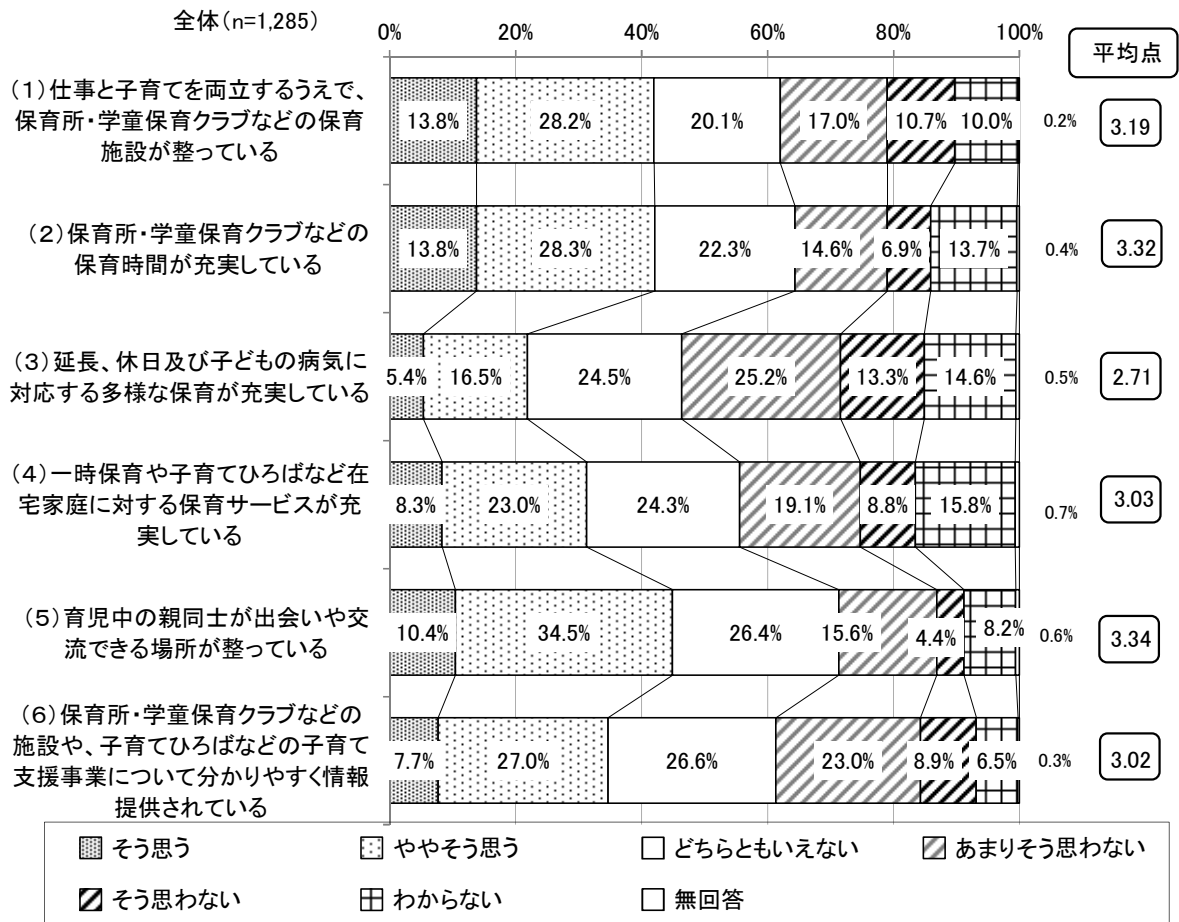
3. 調査結果の見方

- (1) 図中の「n」は、当該設問の対象者数を表します。対象を限定した設問では、「n」の値が全体の対象者数より小さくなります。
- (2) 集計した数値 (%) は小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値 (%) をすべて合計しても、四捨五入の関係で 100% にならないことがあります。
- (3) 回答者数を分母として割合 (%) を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると 100% を超えます。
- (4) 「無回答」には、単数回答を求めている設問で複数の選択肢に〇が付されている等、集計から除外した票数を含みます。
- (5) 本文は、基本目標全体と、それぞれの目標の経年変化で分析しています。
 【全体】各選択肢の回答比率を算出するほか、「そう思う」を 5 点、「ややそう思う」を 4 点、「どちらともいえない」を 3 点、「あまりそう思わない」を 2 点、「そう思わない」を 1 点にそれぞれ配点し、平均得点を算出しました。
 【経年変化】同様の調査の平成 24 年度からの比較を掲載しています。

4. 調査結果

基本目標1. のびのび子育て！に関する質問【全体】

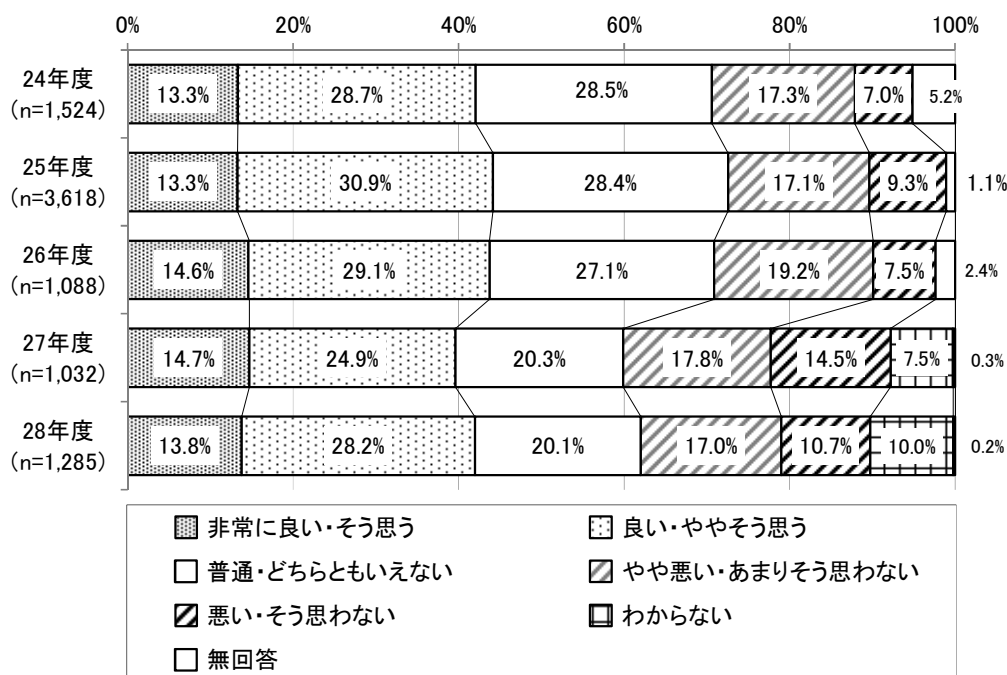
- (1) 仕事と子育てを両立するうえで、保育所・学童保育クラブなどの保育施設が整っている。
- (2) 保育所・学童保育クラブなどの保育時間が充実している。
- (3) 延長、休日及び子どもの病気に対応する多様な保育が充実している。
- (4) 一時保育や子育てひろばなど在宅家庭に対する保育サービスが充実している。
- (5) 育児中の親同士が出会いや交流できる場所が整っている。
- (6) 保育所・学童保育クラブなどの施設や、子育てひろばなどの子育て支援事業について分かりやすく情報提供されている。



基本目標1の評価は、「(5) 育児中の親同士が出会いや交流できる場所が整っている」が3.34点で最も高く、「(3) 延長、休日及び子どもの病気に対応する多様な保育が充実している」が2.71点で最も低くなっています。

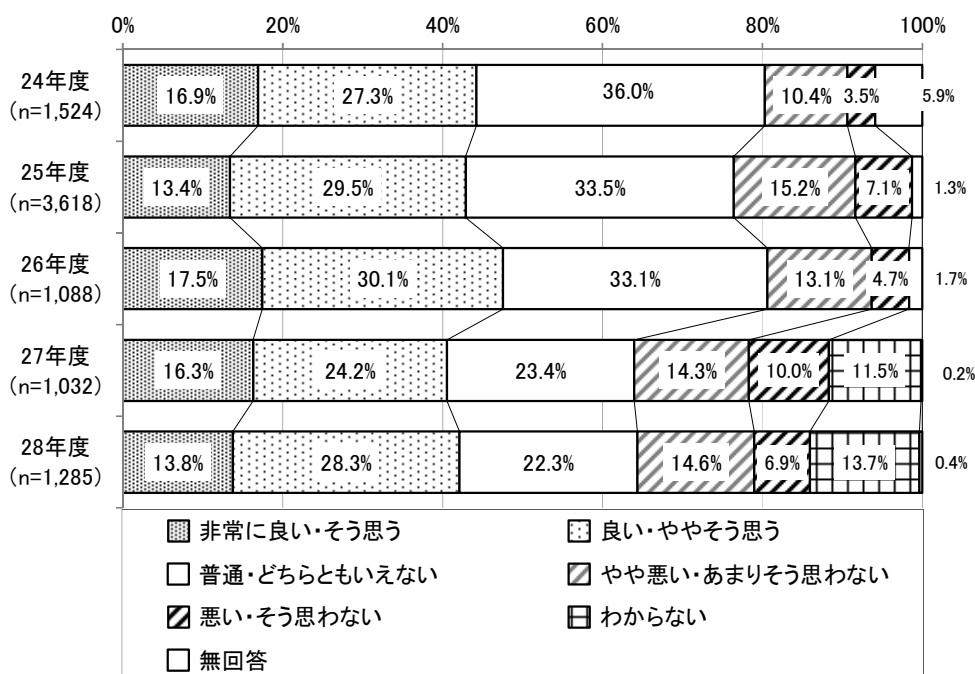
基本目標 1. のびのび子育て！に関する質問【経年変化】

(1) 仕事と子育てを両立するうえで、保育所・学童保育クラブなどの保育施設が整っている。



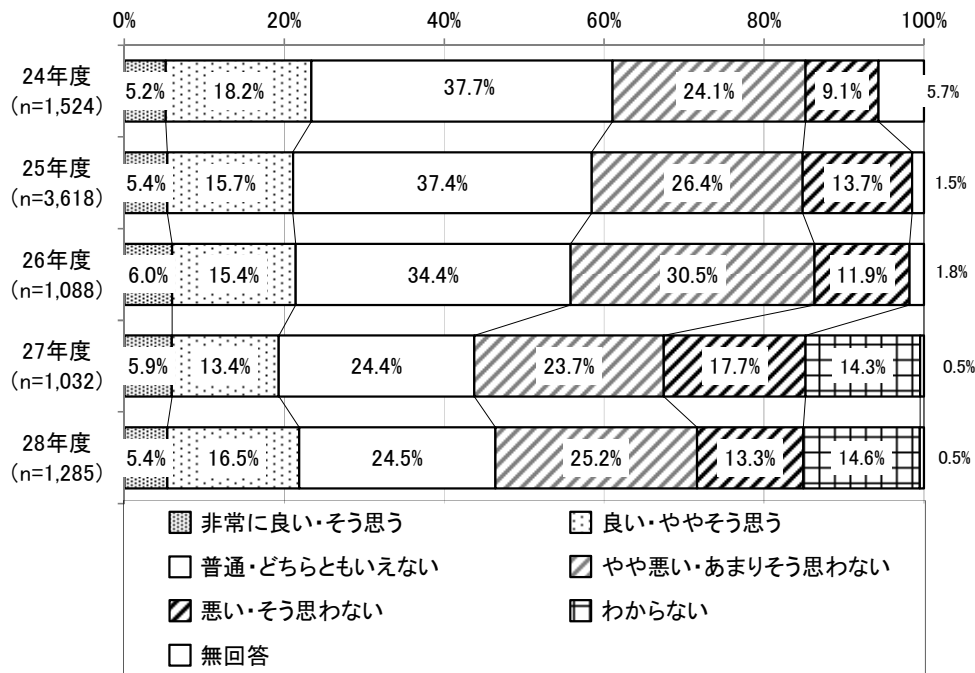
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は概ね 4 割で推移しています。

(2) 保育所・学童保育クラブなどの保育時間が充実している。



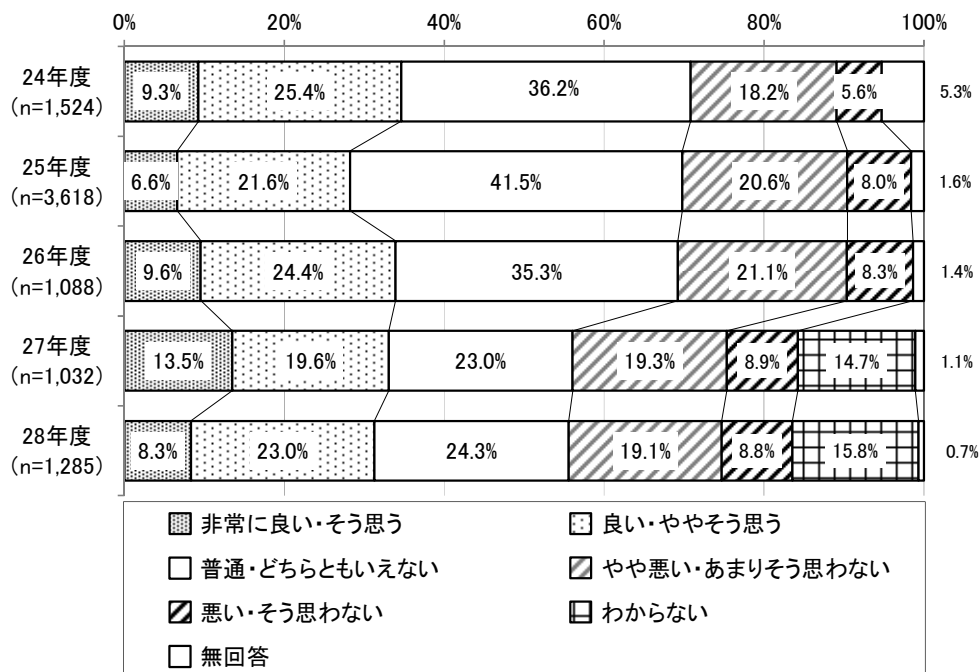
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は平成 28 年度は約 42%です。「悪い・そう思わない」は昨年度より約 3 ポイント減少しました。

(3) 延長、休日及び子どもの病気に対応する多様な保育が充実している。



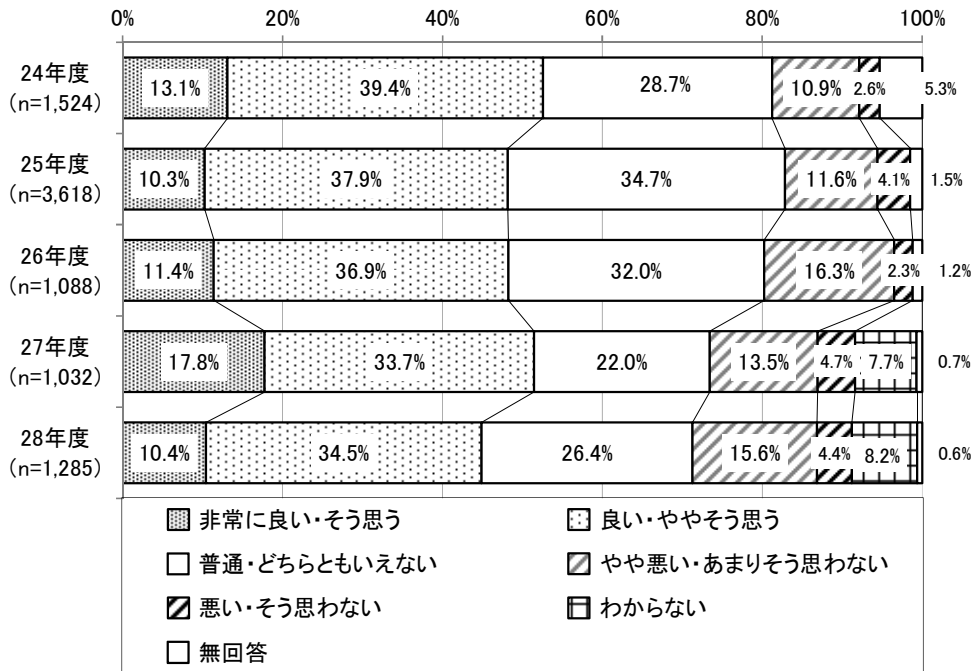
「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計は、平成 27 年度から約 3 ポイント低下しています。

(4) 一時保育や子育てひろばなど在宅家庭に対する保育サービスが充実している。



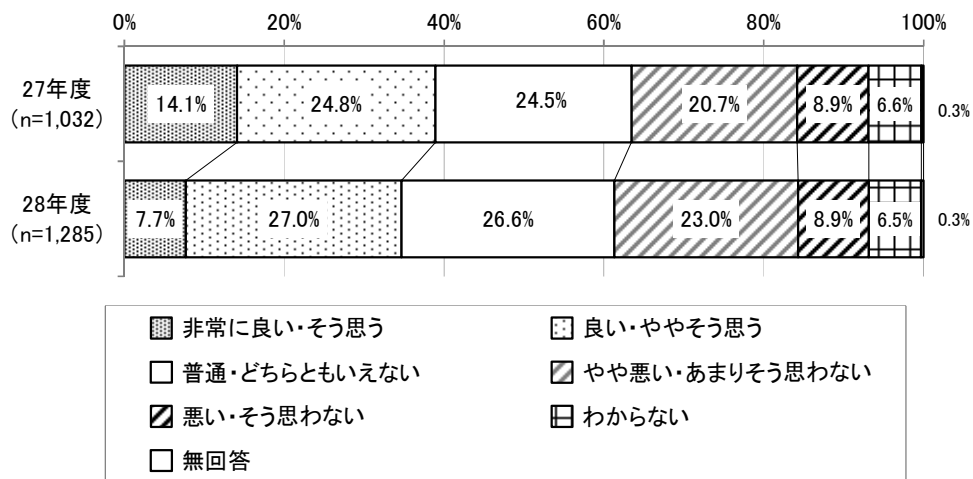
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は漸減傾向にあります。

(5) 育児中の親同士が会いや交流できる場所が整っている。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計が「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計より約 25 ポイント高くなっています。

(6) 保育所・学童保育クラブなどの施設や、子育てひろばなどの子育て支援事業について分かりやすく情報提供されている。

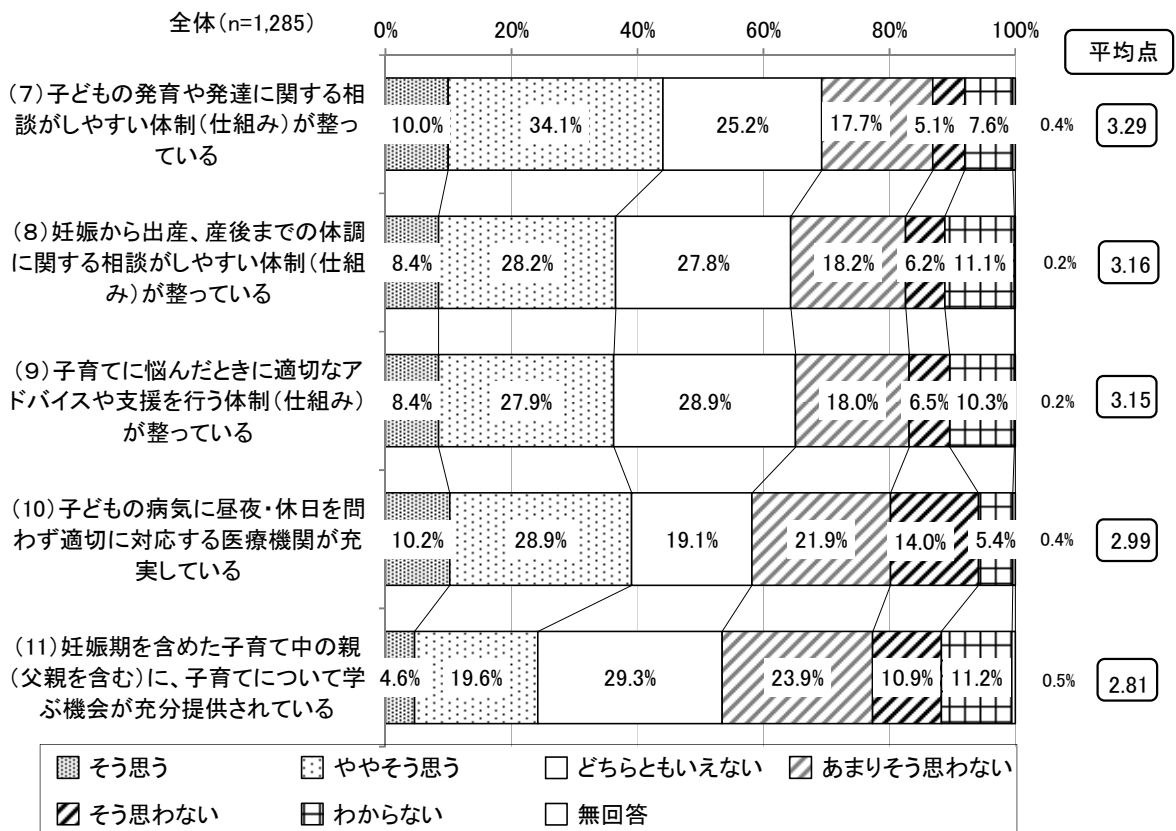


「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計が「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計より約 3 ポイント高くなっています。

なお、この設問は平成 27 年度新規質問項目のため、平成 24 年度～平成 26 年度は調査を行っていません。

基本目標2. すこやか子育て！に関する質問【全体】

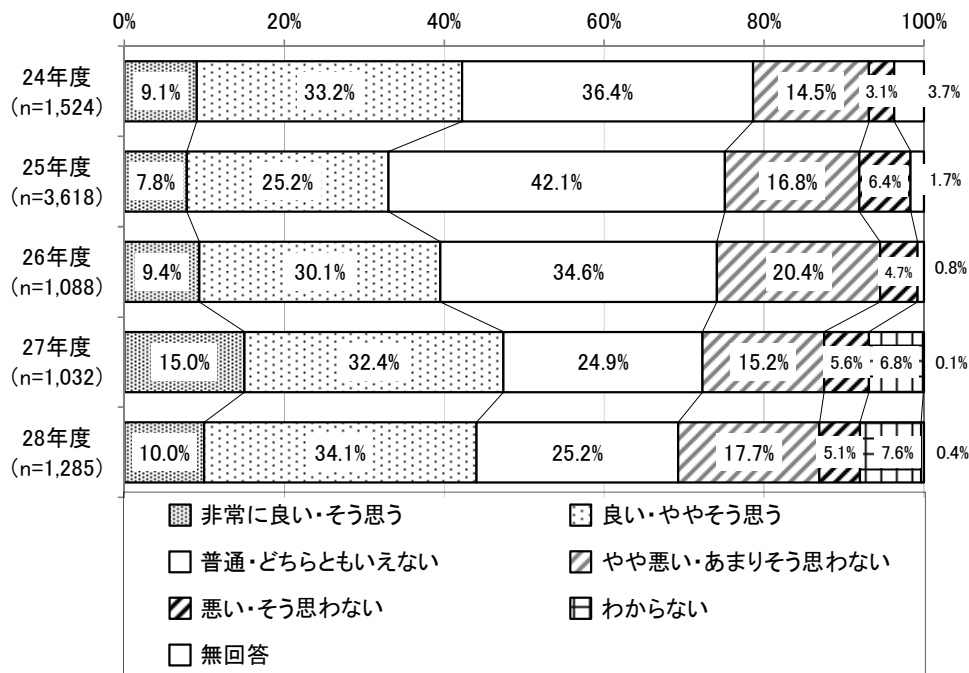
- (7) 子どもの発育や発達に関する相談がしやすい体制（仕組み）が整っている。
- (8) 妊娠から出産、産後までの体調に関する相談がしやすい体制（仕組み）が整っている。
- (9) 子育てに悩んだときに適切なアドバイスや支援を行う体制（仕組み）が整っている。
- (10) 子どもの病気に昼夜・休日を問わず適切に対応する医療機関が充実している。
- (11) 妊娠期を含めた子育て中の親（父親を含む）に、子育てについて学ぶ機会が充分提供されている。



基本目標2の評価は、「(7) 子どもの発育や発達に関する相談がしやすい体制（仕組み）が整っている」が3.29点で最も高く、「(11) 妊娠期を含めた子育て中の親（父親を含む）に、子育てについて学ぶ機会が充分提供されている」が2.81点で最も低くなっています。

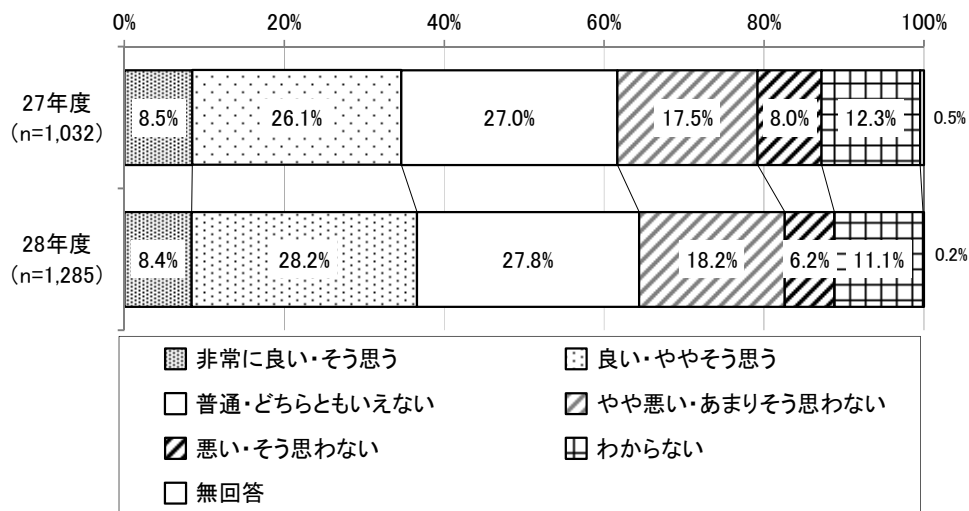
基本目標 2. すこやか子育て！に関する質問【経年変化】

(7) 子どもの発育や発達に関する相談がしやすい体制（仕組み）が整っている。



「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計は、28年度は2ポイント増加しています。

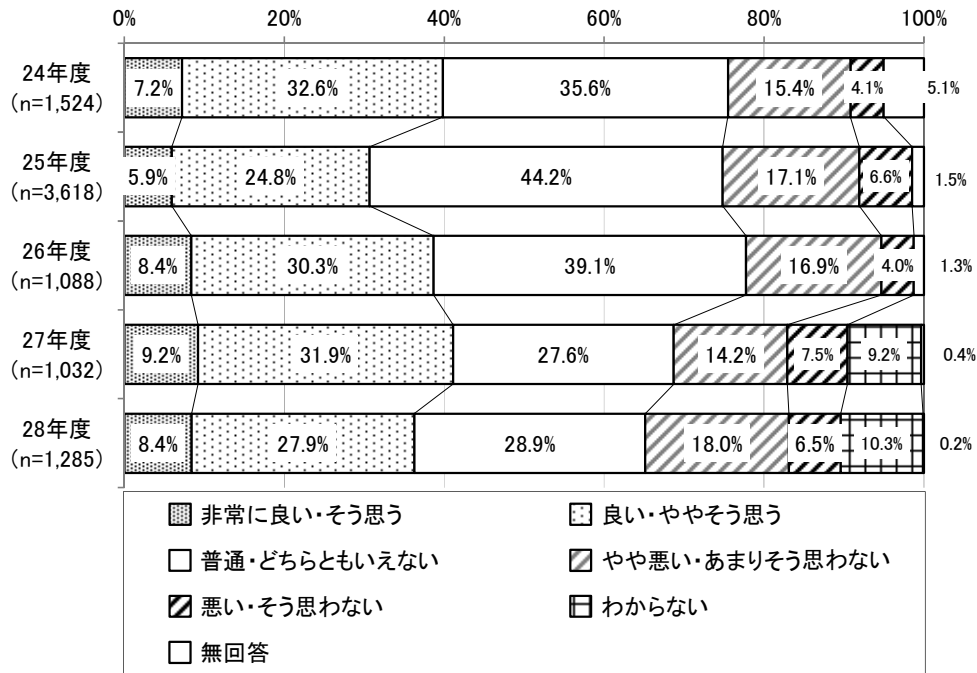
(8) 妊娠から出産、産後までの体調に関する相談がしやすい体制（仕組み）が整っている。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計が「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計より約12ポイント高くなっています。

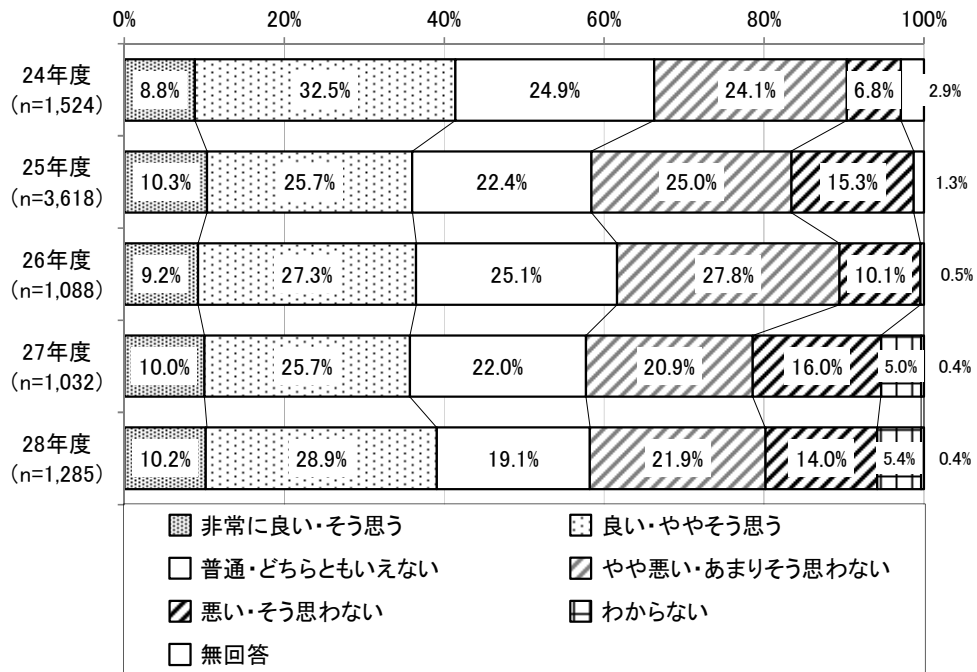
なお、この設問は平成27年度新規質問項目のため、平成24年度～平成26年度は調査を行っていません。

(9) 子育てに悩んだときに適切なアドバイスや支援を行う体制（仕組み）が整っている。



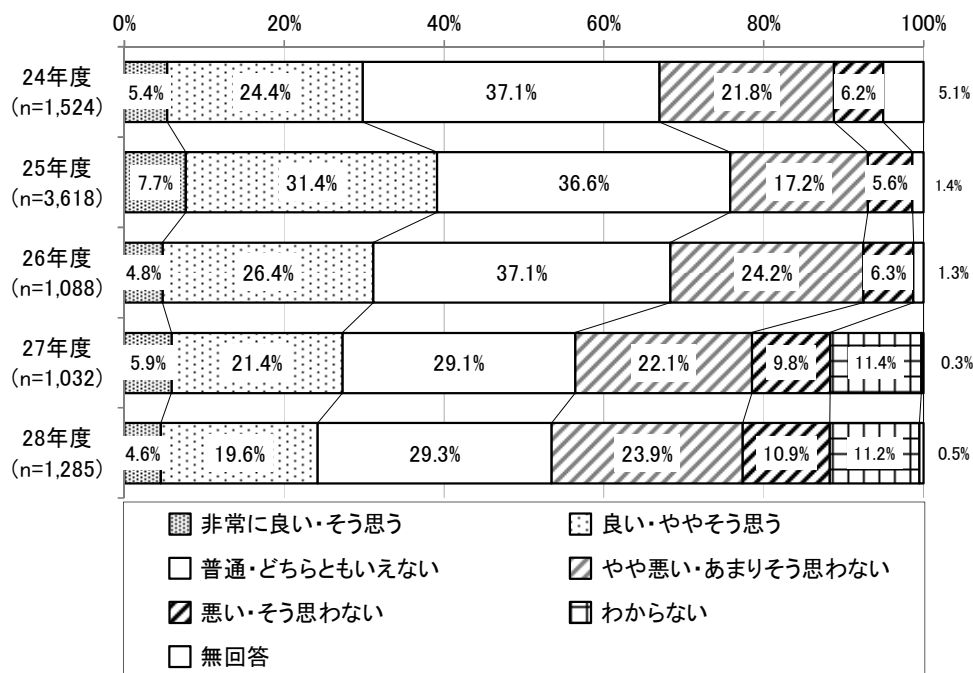
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計が「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計より 12 ポイント高くなっています。

(10) 子どもの病気に昼夜・休日を問わず適切に対応する医療機関が充実している。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計が「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」より約 3 ポイント多くなっています。

(11) 妊娠期を含めた子育て中の親（父親を含む）に、子育てについて学ぶ機会が充分提供されている。

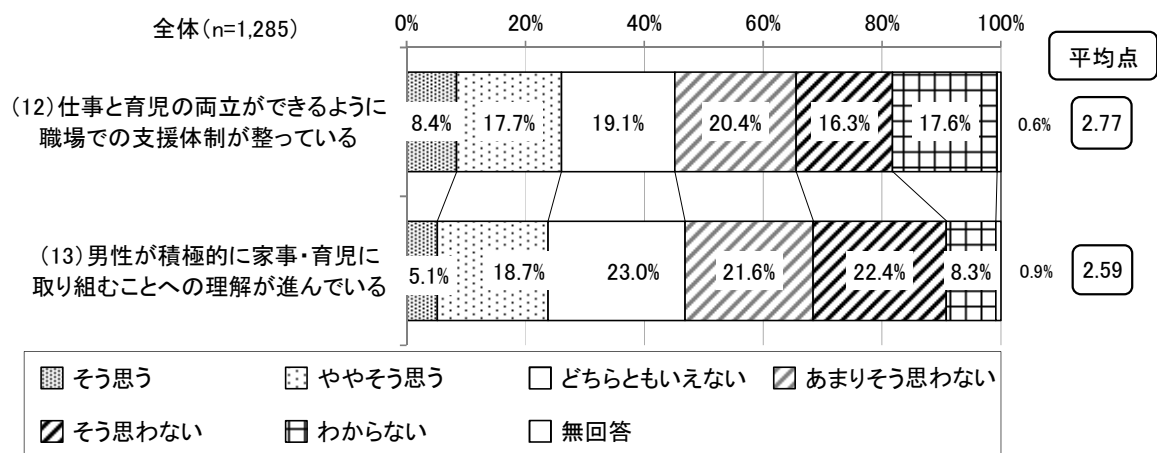


「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は平成 28 年度には約 24%で、27年度と比べて約3ポイント低くなっています。

基本目標3. いきいき子育て！に関する質問【全体】

(12) 仕事と育児の両立ができるように職場での支援体制が整っている。

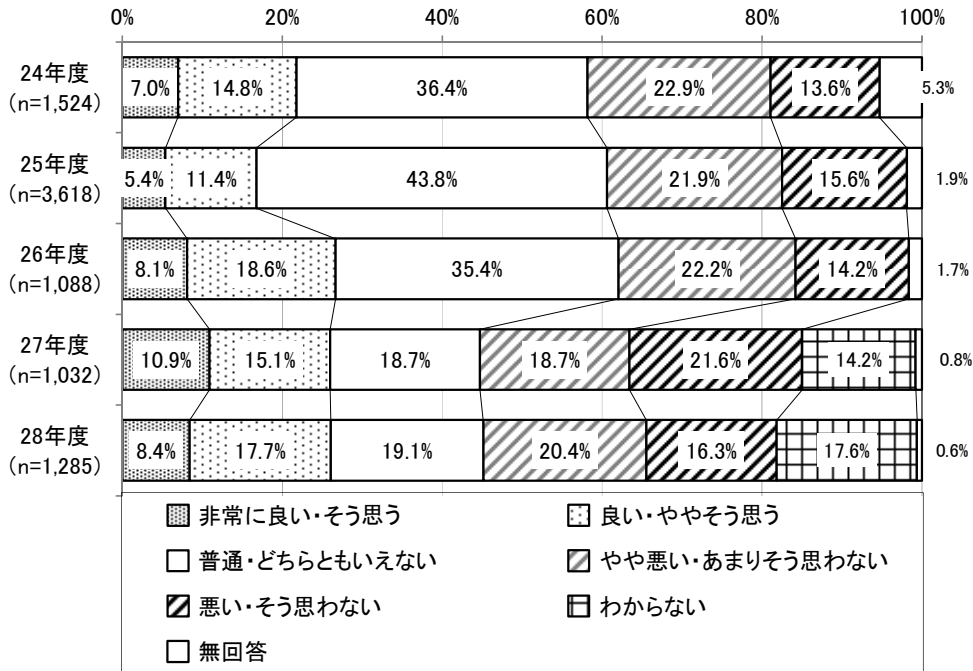
(13) 男性が積極的に家事・育児に取り組むことへの理解が進んでいる。



基本目標3の評価は、「(12) 仕事と育児の両立ができるように職場での支援体制が整っている」の平均点が3点を下回りました。また、「(13) 男性が積極的に家事・育児に取り組むことへの理解が進んでいる」も平均点が3点を下回りました。

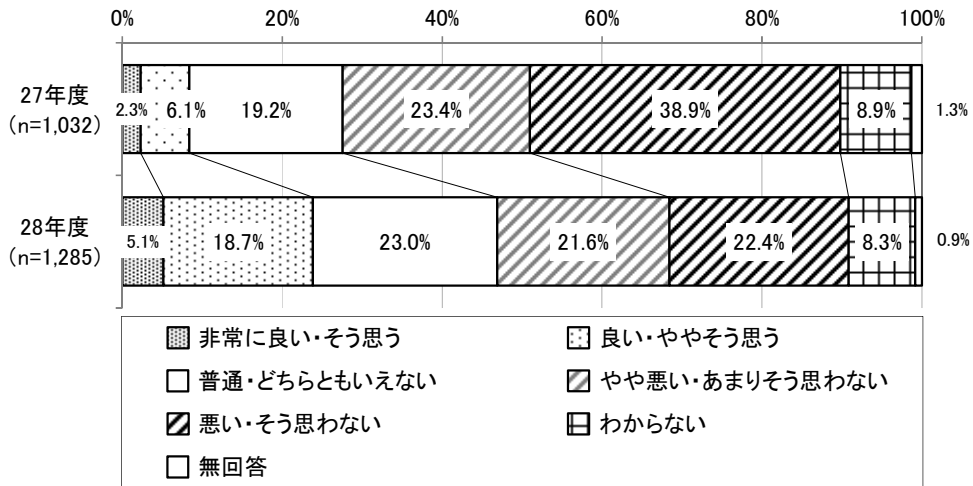
基本目標3. いきいき子育て！【経年変化】

(12) 仕事と育児の両立ができるように職場での支援体制が整っている。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は平成26年度以降、26%程度となっています。

(13) 男性が積極的に家事・育児に取り組むことへの理解が進んでいる。

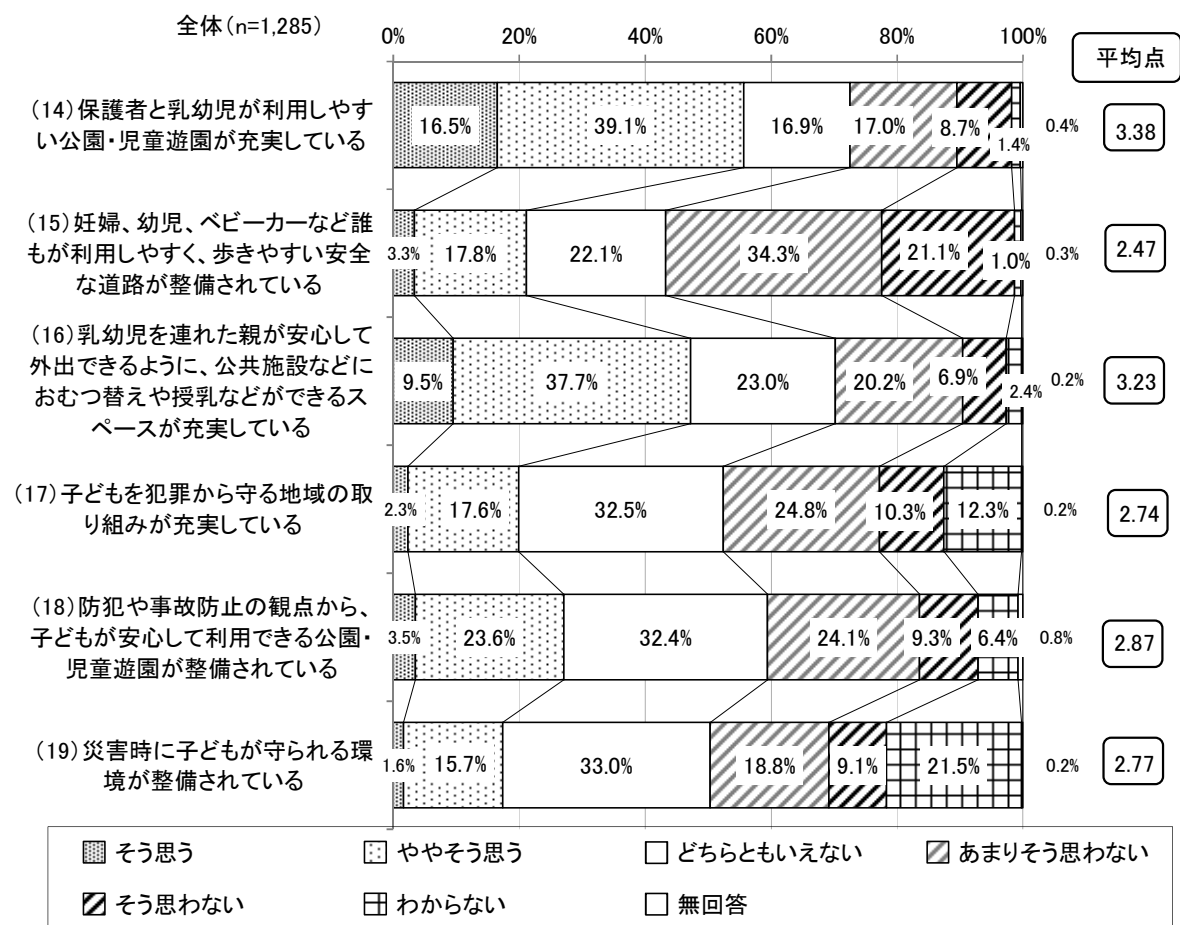


「非常に良い・そう思う」「よい・ややそう思う」の合計が8.4%から23.8%に増加しています。

なお、この設問は平成27年度新規質問項目のため、平成24年度～平成26年度は調査を行っていません。

☆【基本目標4. あんしん子育て！に関する質問【全体】

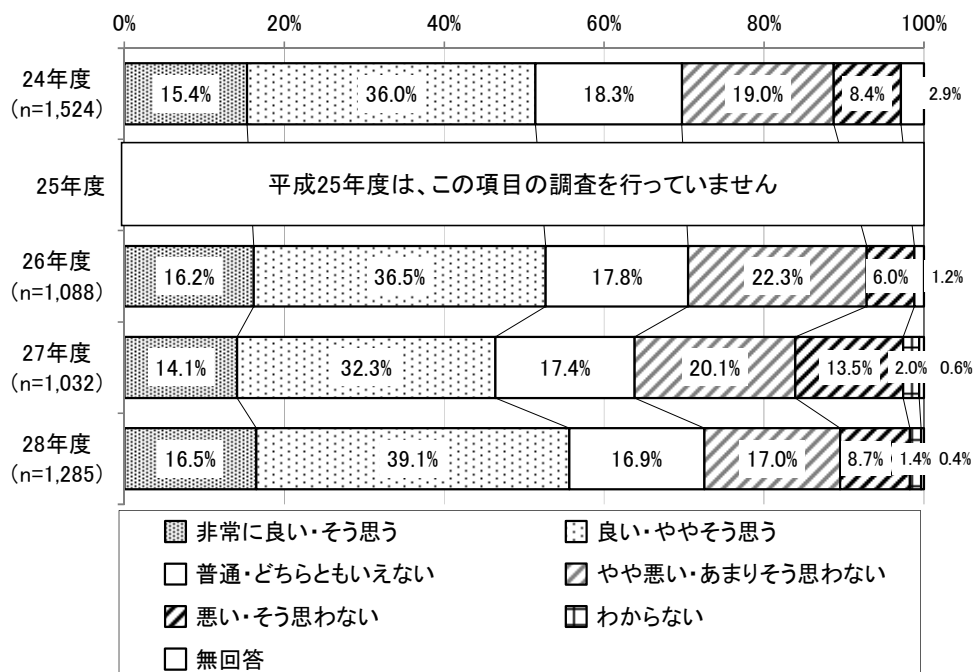
- (14) 保護者と乳幼児が利用しやすい公園・児童遊園が充実している。
- (15) 妊婦、幼児、ベビーカーなど誰もが利用しやすく、歩きやすい安全な道路が整備されている。
- (16) 乳幼児を連れた親が安心して外出できるように、公共施設などにおむつ替えや授乳などができるスペースが充実している。
- (17) 子どもを犯罪から守る地域の取り組みが充実している。
- (18) 防犯や事故防止の観点から、子どもが安心して利用できる公園・児童遊園が整備されている。
- (19) 災害時に子どもが守られる環境が整備されている。



基本目標4の評価は、「(14) 保護者と乳幼児が利用しやすい公園・児童遊園が充実している」が3.38点で最も高く、「(15) 妊婦、幼児、ベビーカーなど誰もが利用しやすく、歩きやすい安全な道路が整備されている」が2.47点で最も低くなっています。

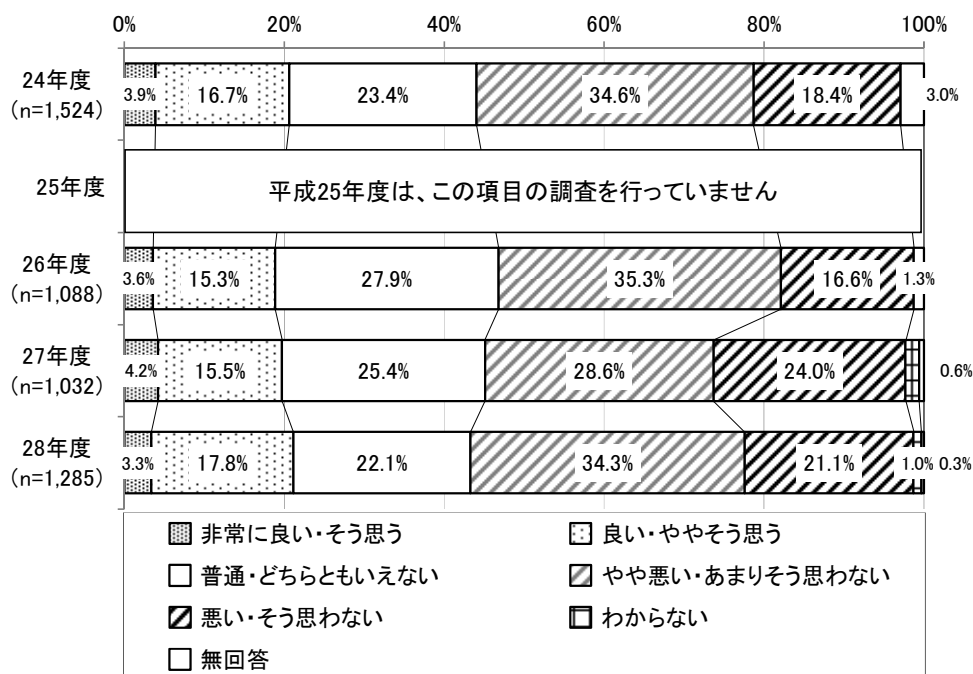
基本目標4. あんしん子育て！に関する質問【経年変化】

(14) 保護者と乳幼児が利用しやすい公園・児童遊園が充実している。



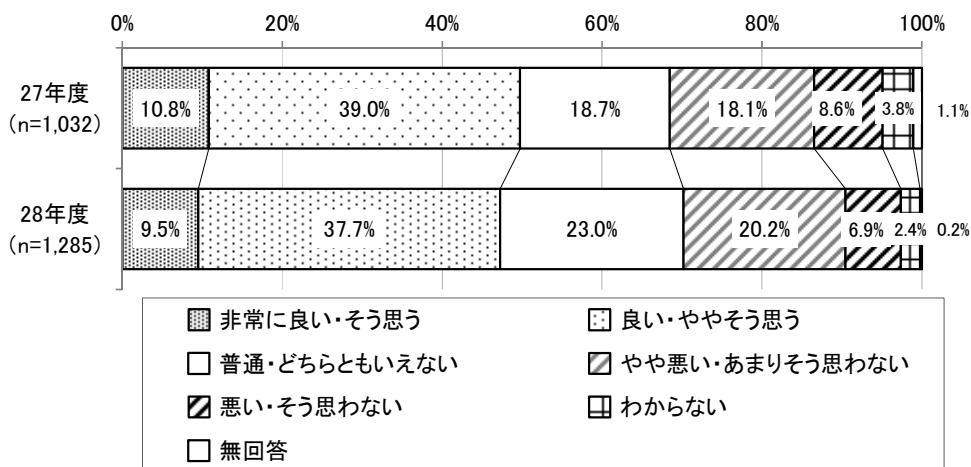
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は、平成27年度には半数を割っていましたが、平成28年度では約55%となっています。

(15) 妊婦、幼児、ベビーカーなど誰もが利用しやすく、歩きやすい安全な道路が整備されている。



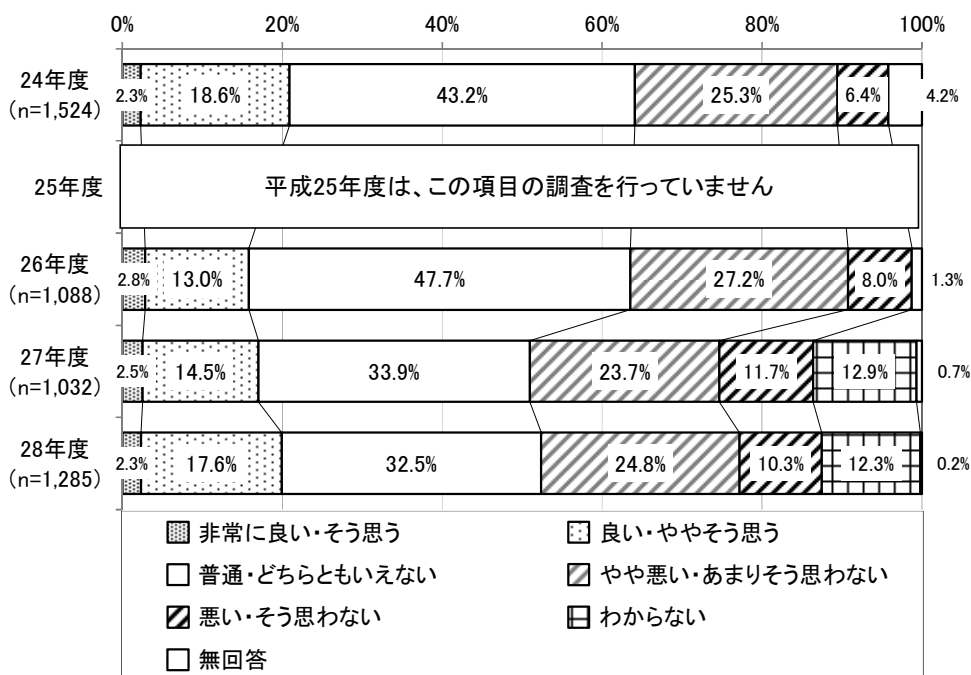
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は、概ね20%程度で推移しています。

(16) 乳幼児を連れて親が安心して外出できるように、公共施設などにおむつ替えや授乳などができるスペースが充実している。



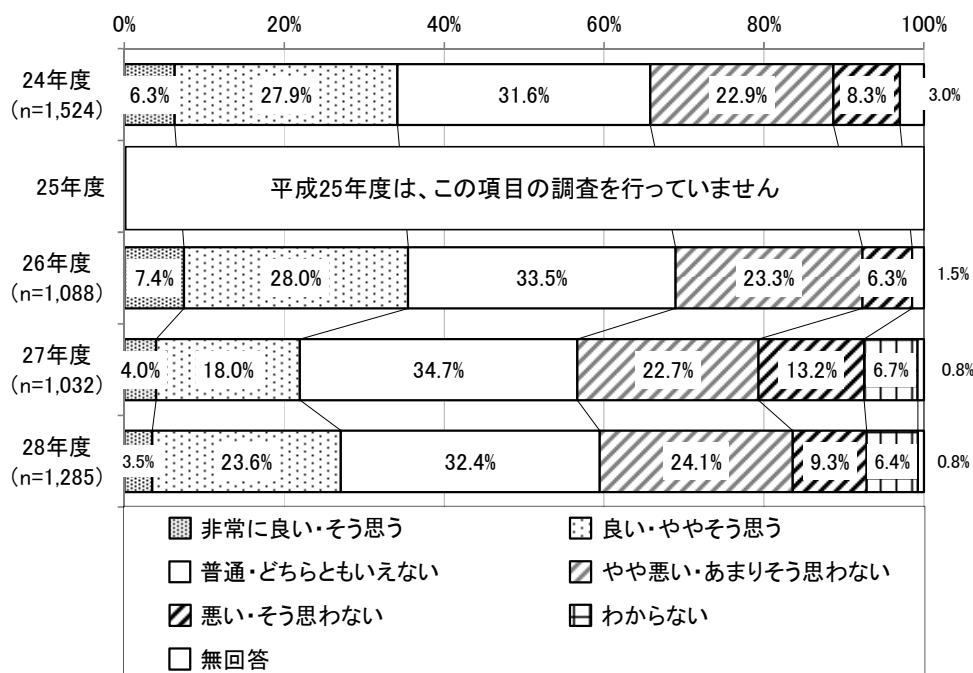
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は約 47%となっています。
 なお、この設問は平成 27 年度新規質問項目のため、平成 24 年度～平成 26 年度は調査を行っていません。

(17) 子どもを犯罪から守る地域の取り組みが充実している。



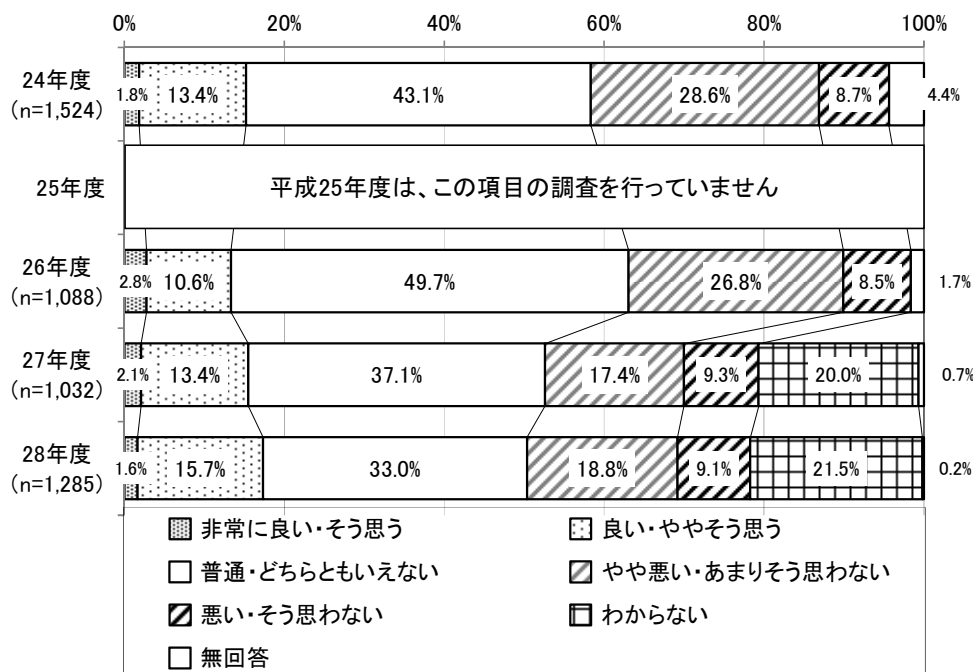
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は、平成 27 年度から約 3 ポイント増加しています。

(18) 防犯や事故防止の観点から、子どもが安心して利用できる公園・児童遊園が整備されている。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は、平成 27 年度から約 5 ポイント増加しています。

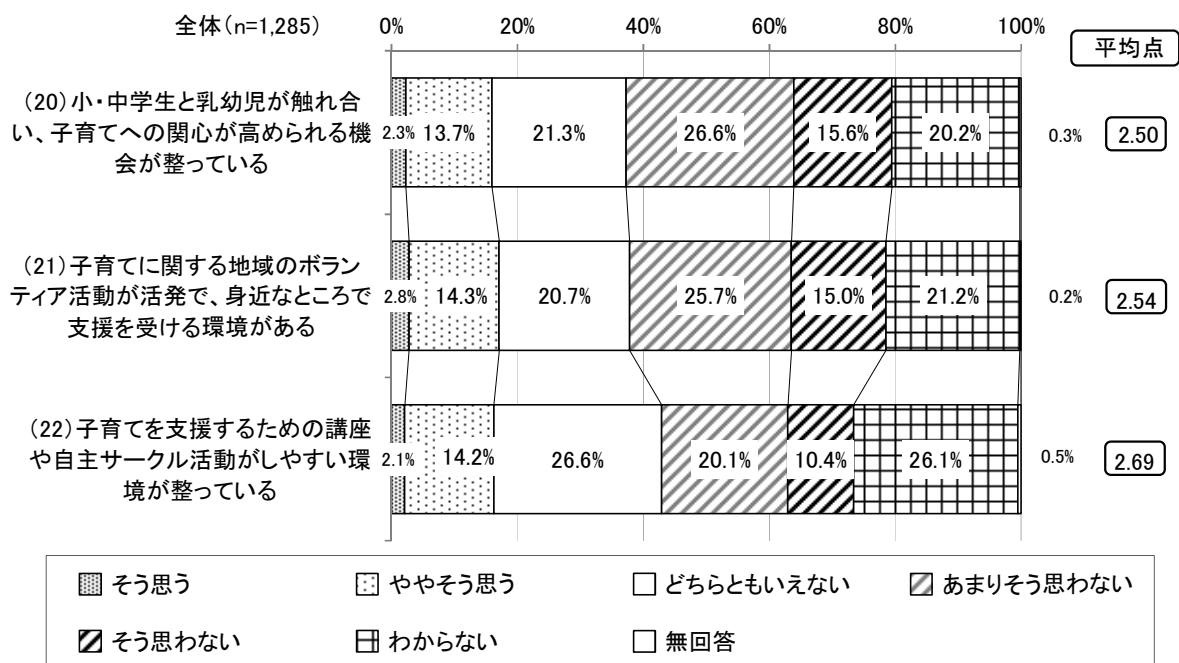
(19) 災害時に子どもが守られる環境が整備されている。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は、平成 26 年度以来漸増傾向にあります。

基本目標5. みんなで子育て！に関する質問【全体】

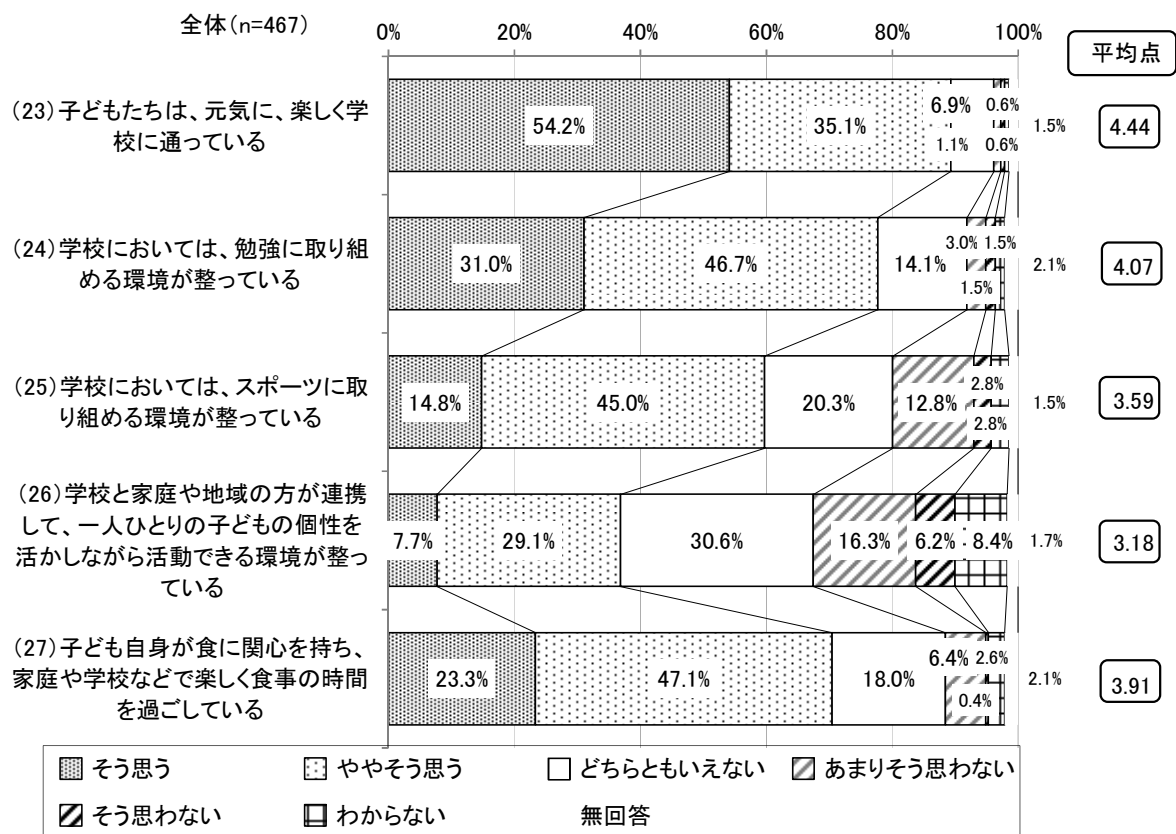
- (20) 小・中学生と乳幼児が触れ合い、子育てへの関心が高められる機会が整っている。
- (21) 子育てに関する地域のボランティア活動が活発で、身近なところで支援を受ける環境がある。
- (22) 子育てを支援するための講座や自主サークル活動がしやすい環境が整っている。



基本目標5の評価は、「(22) 子育てを支援するための講座や自主サークル活動がしやすい環境が整っている」が2.69点で最も高く、「(20) 小・中学生と乳幼児が触れ合い、子育てへの関心が高められる機会が整っている」は2.50点と、低くなっています。

※ (23)～(27)は、小学生以上のお子様がいる保護者の方にお尋ねします。
 小学生以上のお子様がない保護者の方は(28)にお進みください。

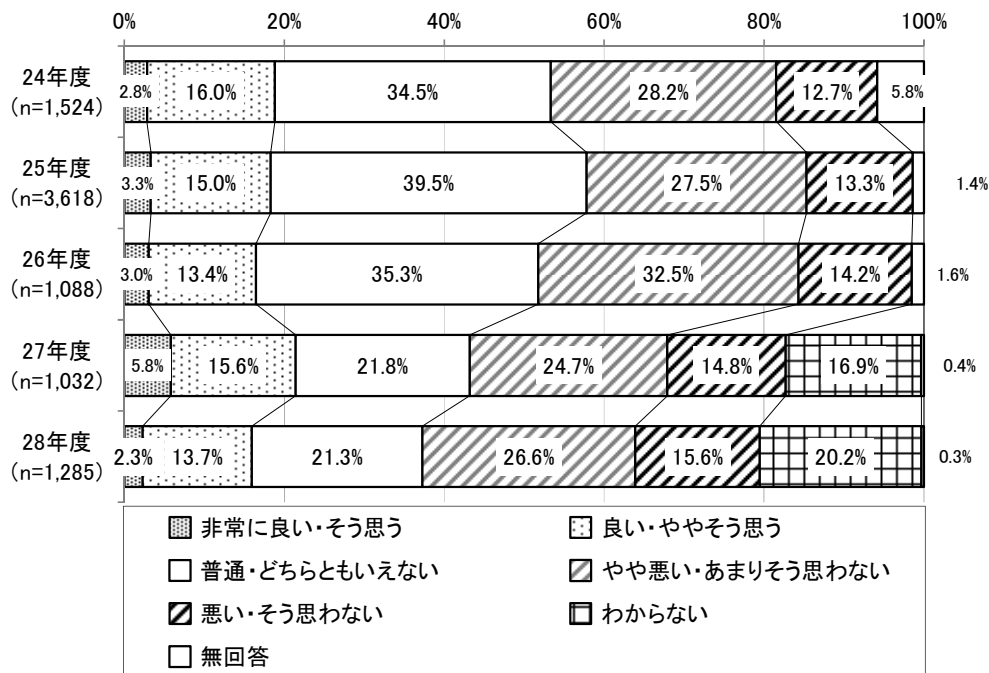
- (23) 子どもたちは、元気に、楽しく学校に通っている。
- (24) 学校においては、勉強に取り組める環境が整っている。
- (25) 学校においては、スポーツに取り組める環境が整っている。
- (26) 学校と家庭や地域の方が連携して、一人ひとりの子どもの個性を活かしながら活動できる環境が整っている。
- (27) 子ども自身が食に関心を持ち、家庭や学校などで楽しく食事の時間を過ごしている。



基本目標5で、小学生以上のお子様がいる保護者に尋ねた評価は、「(23) 子どもたちは、元気に、楽しく学校に通っている」が4.44点で最も高く、「(26) 学校と家庭や地域の方が連携して、一人ひとりの子どもの個性を活かしながら活動できる環境が整っている」は3.18点と、評価が低くなっています。

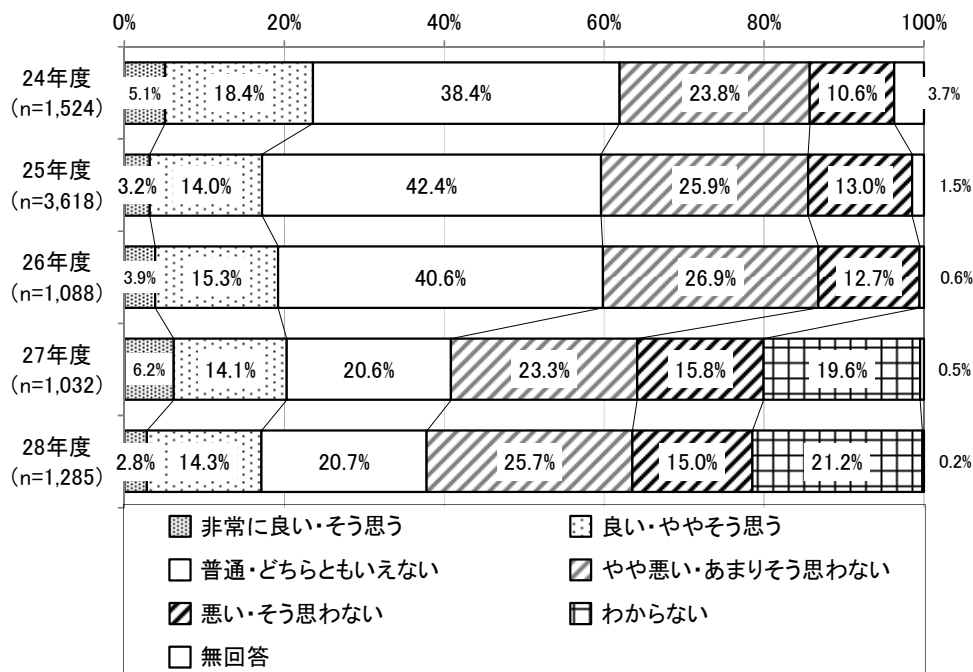
基本目標5. みんなで子育て！に関する質問【経年変化】

(20) 小・中学生と乳幼児が触れ合い、子育てへの関心が高められる機会が整っている。



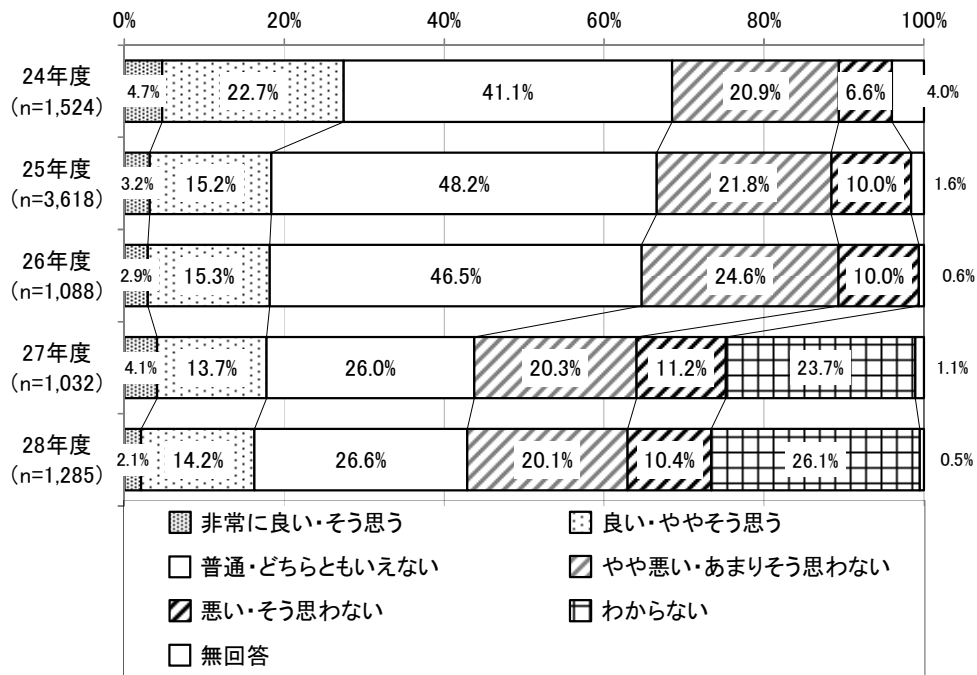
「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計は、昨年度より 2.7 ポイント増加しました。

(21) 子育てに関する地域のボランティア活動が活発で、身近なところで支援を受ける環境がある。



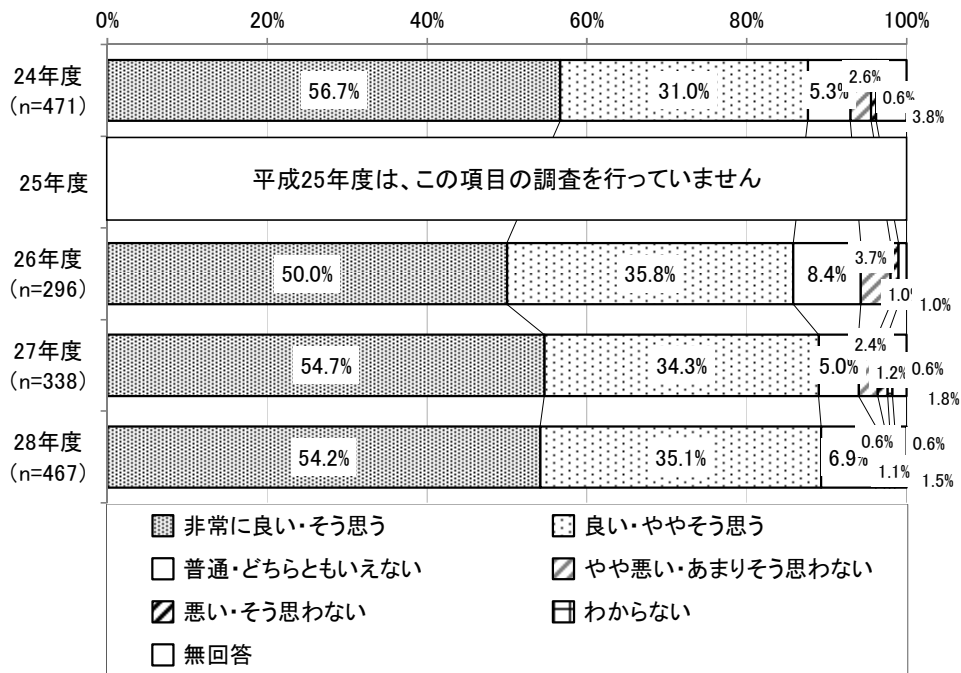
「非常に良い・そう思う」「よい・そう思う」の合計は、昨年度より 3.6 ポイント減少しました。

(22) 子育てを支援するための講座や自主サークル活動がしやすい環境が整っている。



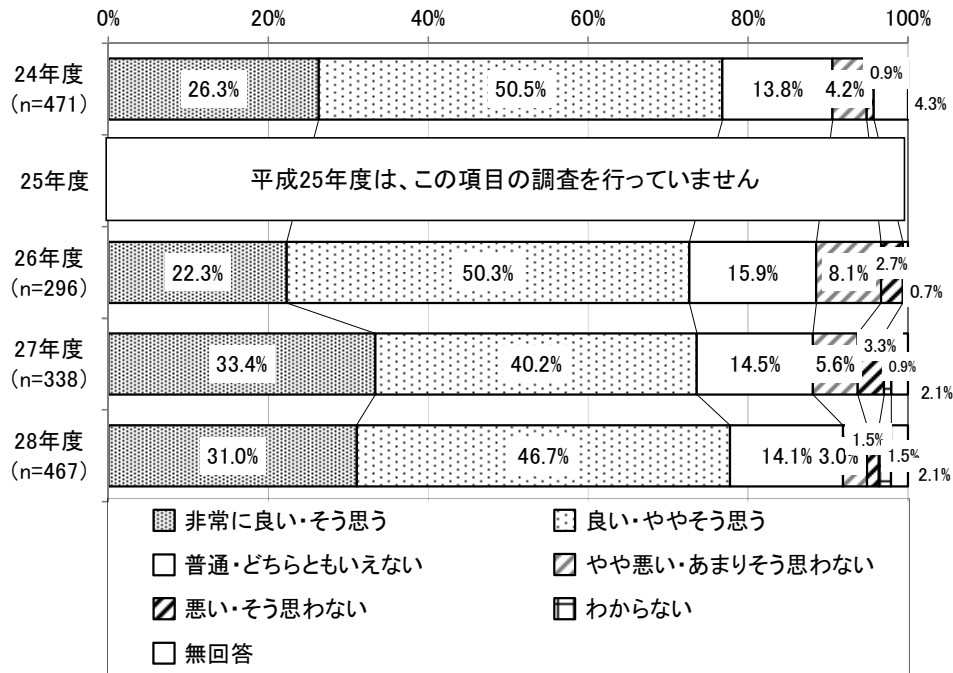
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」と「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計は、ともに平成27年度から28年度で1ポイント程度減少しました。

(23) 子どもたちは、元気に、楽しく学校に通っている。



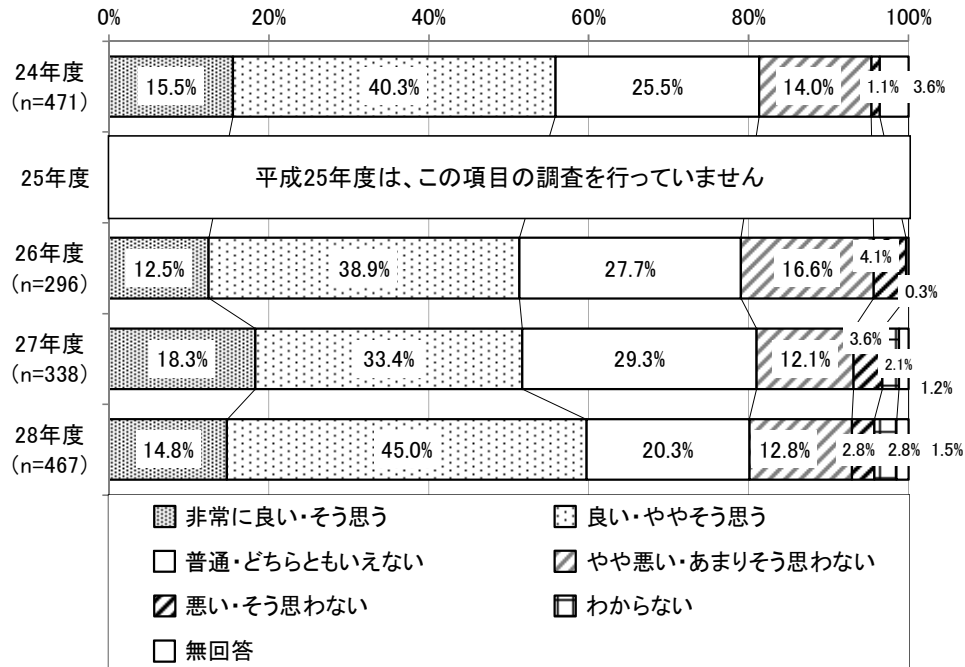
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は約9割を占めています。

(24) 学校においては、勉強に取り組める環境が整っている。



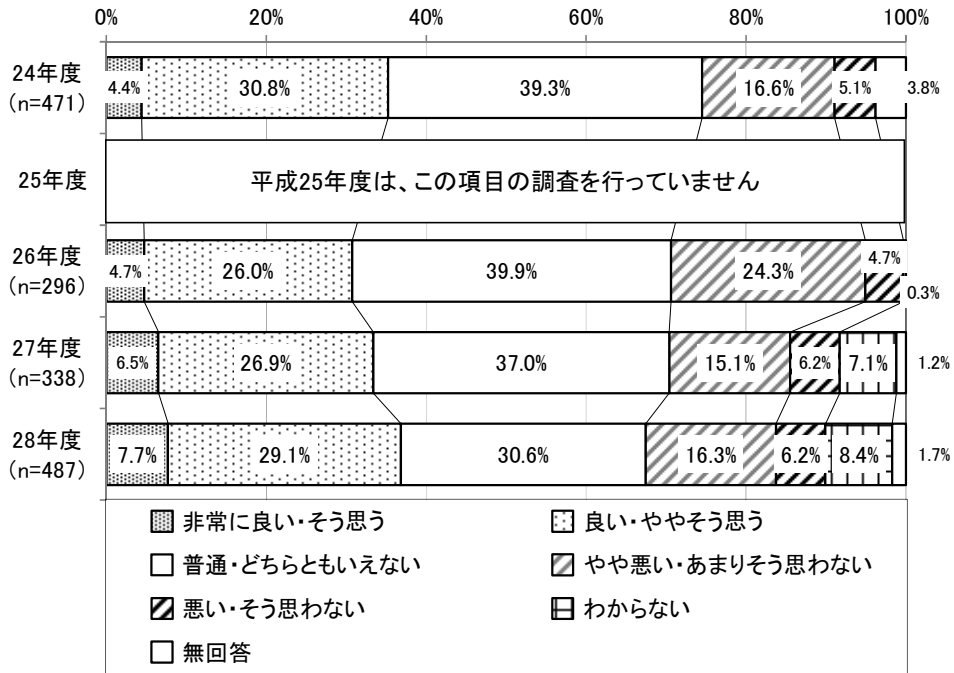
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は、5年間を通じて7割以上となっています。

(25) 学校においては、スポーツに取り組める環境が整っている。



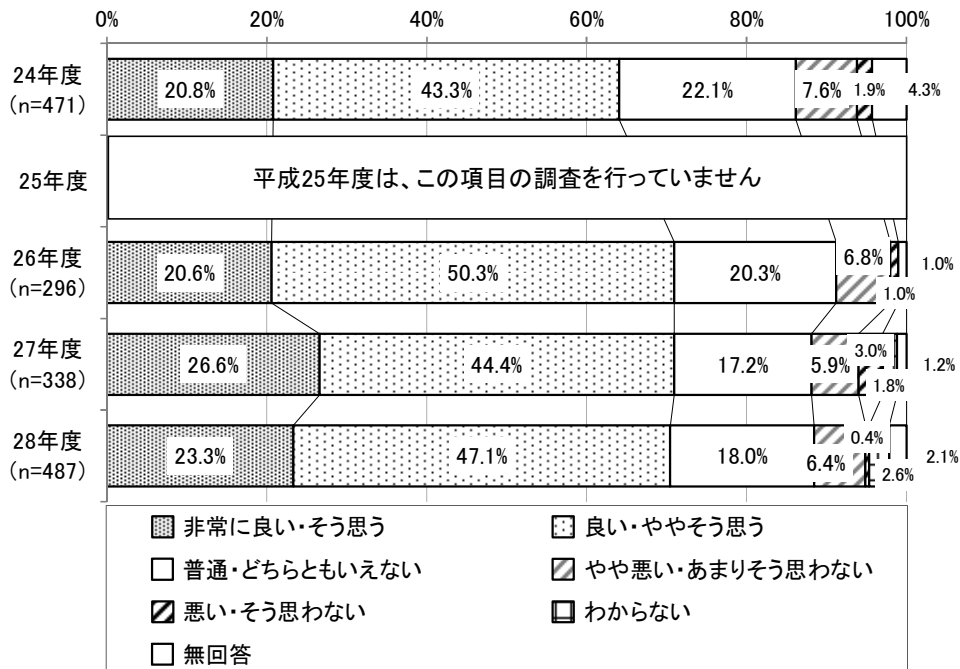
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は、平成27年度と比べて約8ポイント増加しています。

(26) 学校と家庭や地域の方が連携して、一人ひとりの子どもの個性を活かしながら活動できる環境が整っている。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計が、「悪い・そう思わない」「やや悪い・あまりそう思わない」の合計を14ポイント上回っています。

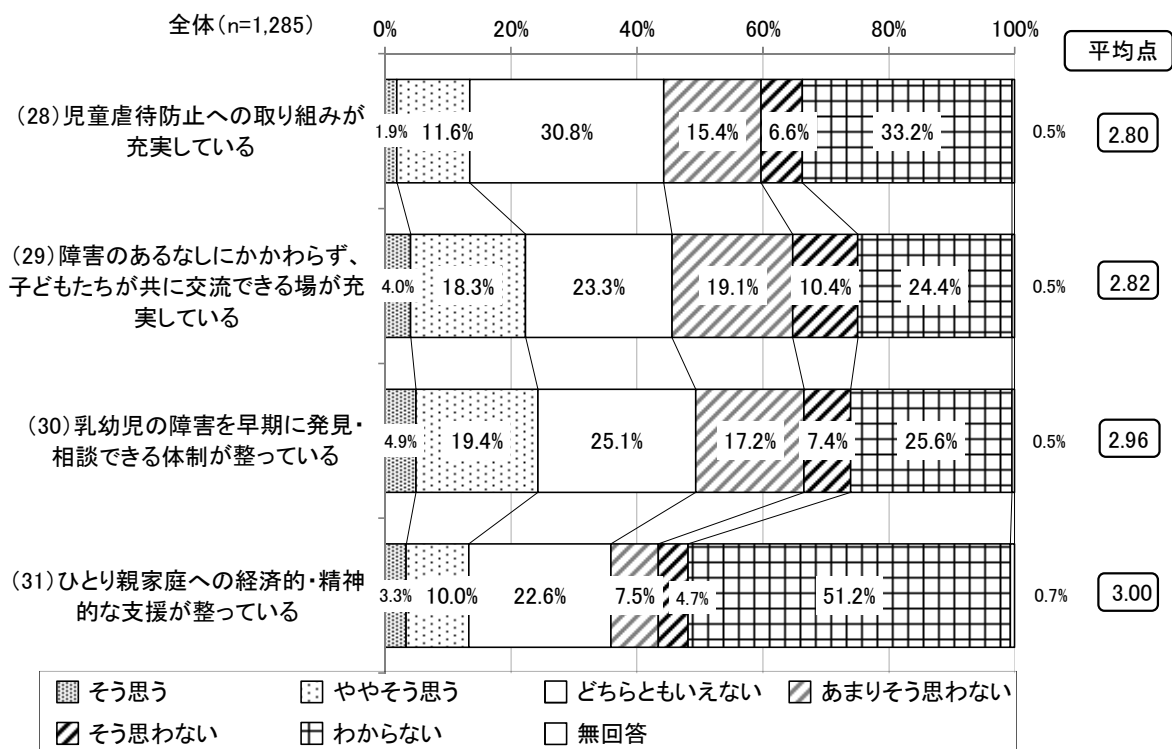
(27) 子ども自身が食に関心を持ち、家庭や学校などで楽しく食事の時間を過ごしている。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計が、「悪い・そう思わない」「やや悪い・あまりそう思わない」の合計を大きく上回る状態が続いています。

基本目標6. つながる子育て！に関する質問【全体】

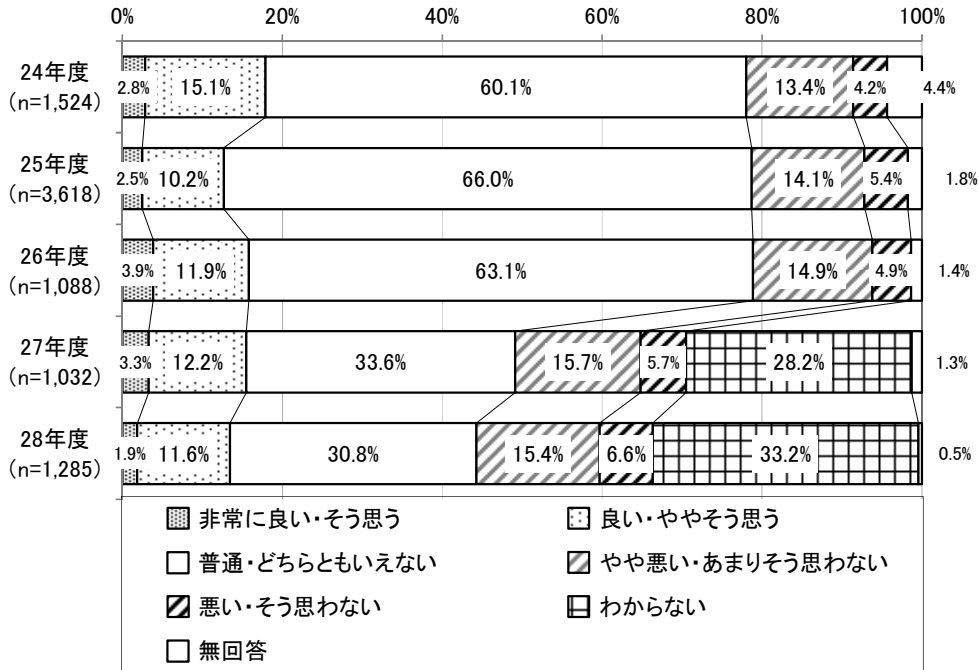
- (28) 児童虐待防止への取り組みが充実している。
- (29) 障害のあるなしにかかわらず、子どもたちが共に交流できる場が充実している。
- (30) 乳幼児の障害を早期に発見・相談できる体制が整っている。
- (31) ひとり親家庭への経済的・精神的な支援が整っている。



基本目標6の評価は、「(31) ひとり親家庭への経済的・精神的な支援が整っている」が3.00点で最も高く、「(28) 児童虐待防止への取り組みが充実している」は2.80点と、評価が低くなっています。

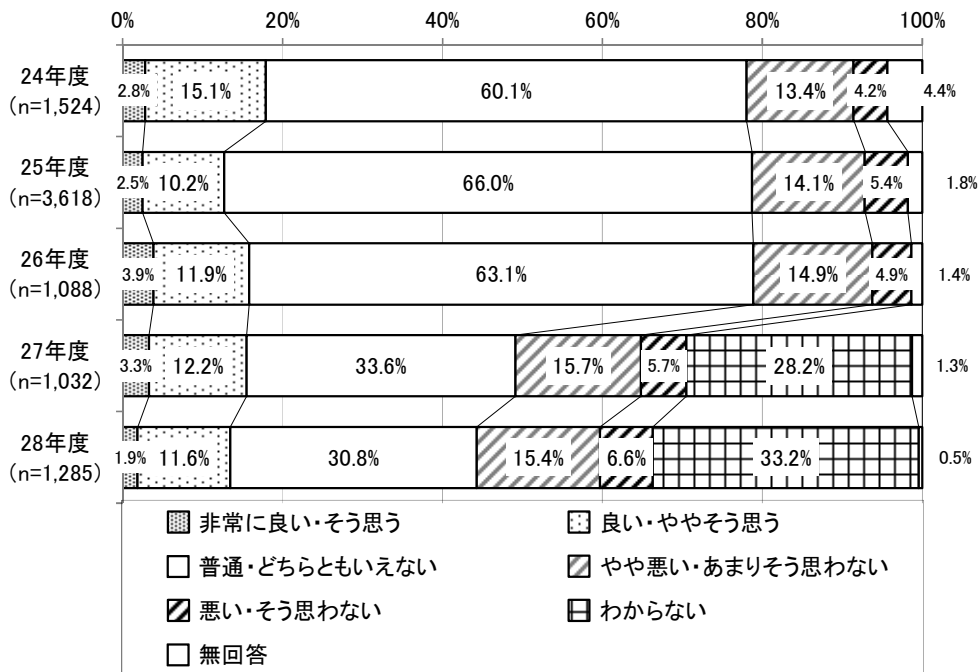
基本目標 6. つながる子育て！に関する質問【経年変化】

(28) 児童虐待防止への取り組みが充実している。



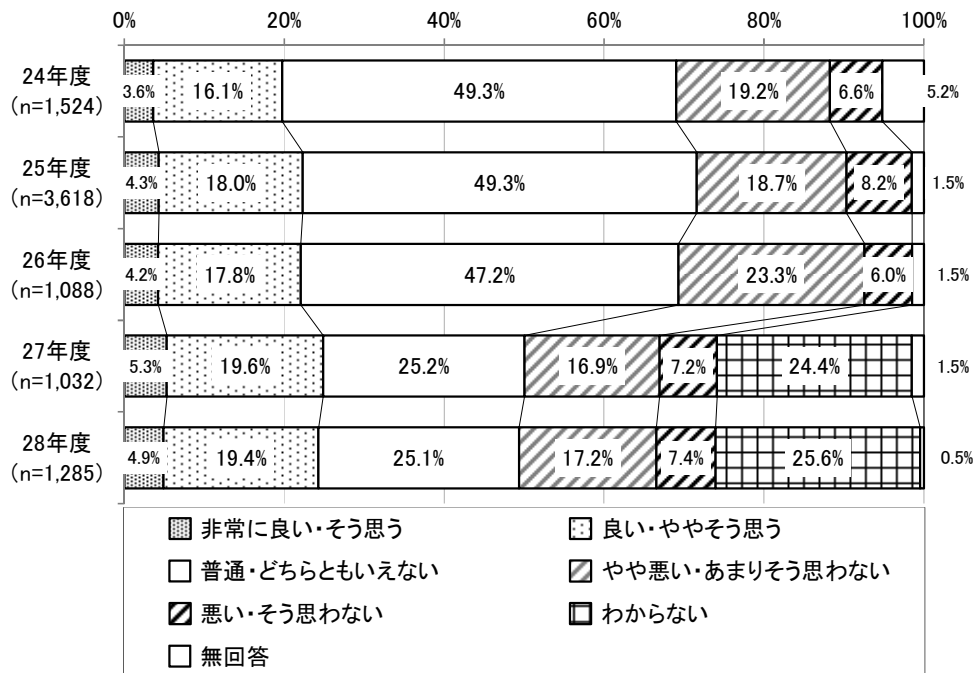
「普通・どちらともいえない」が約3ポイント減少し、平成27年度より新設された「わからない」を選択した人が約33%を占めています。

(29) 障害のあるなしにかかわらず、子どもたちが共に交流できる場が充実している。



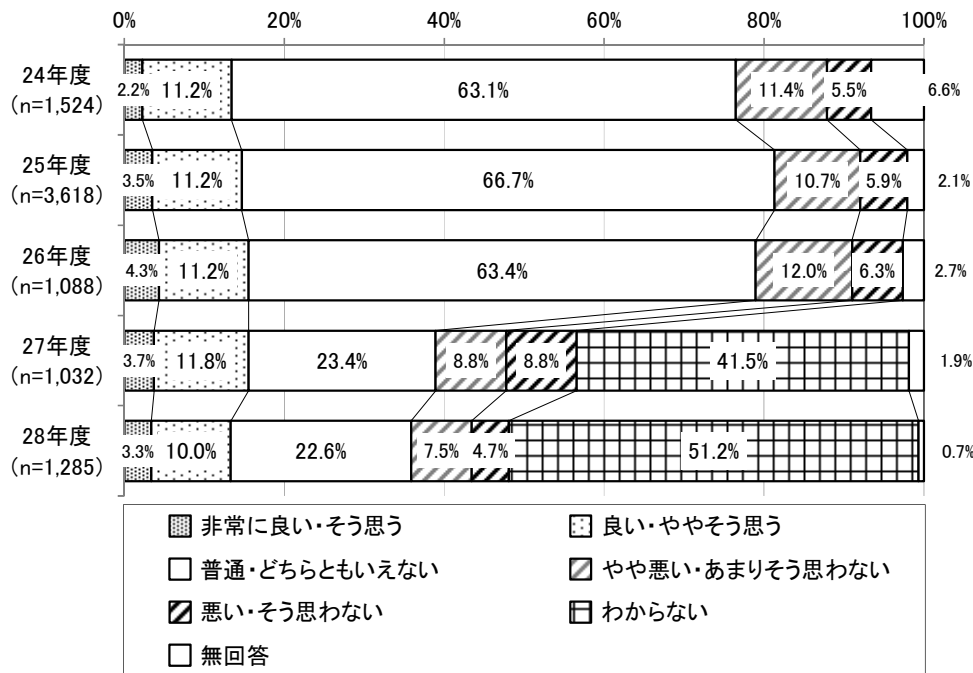
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計が、平成27年度から28年度で2ポイント減少し、平成27年度より新設された「わからない」を選択した人が約33%を占めています。

(30) 乳幼児の障害を早期に発見・相談できる体制が整っている。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は 24.3%、「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計は 24.6%です。

(31) ひとり親家庭への経済的・精神的な支援が整っている。



「悪い・そう思わない」「やや悪い・あまりそう思わない」の合計が約 5 ポイント減少しています。

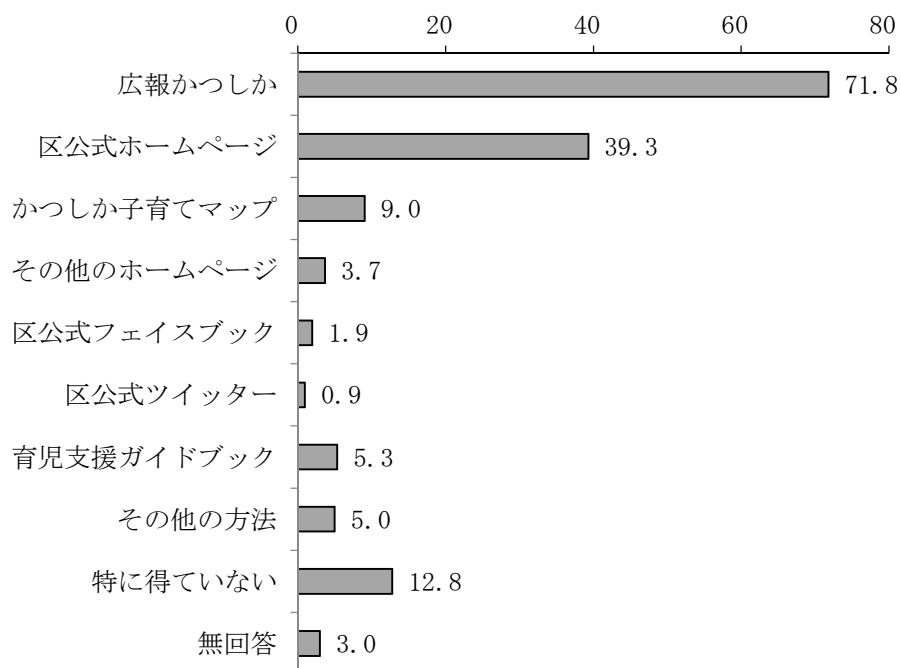
V. 子ども・子育て支援に関する情報提供について伺います。

(32) 子育てに関する区の情報をごどのように得ていますか。(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- | | | |
|-------------------|---------------|---------------|
| 1. 広報かつしか | 2. 区公式ホームページ | 3. かつしか子育てマップ |
| 4. その他のホームページ () | 5. 区公式フェイスブック | |
| 6. 区公式ツイッター | 7. 育児支援ガイドブック | 8. その他の方法 () |
| 9. 特に得ていない | | |

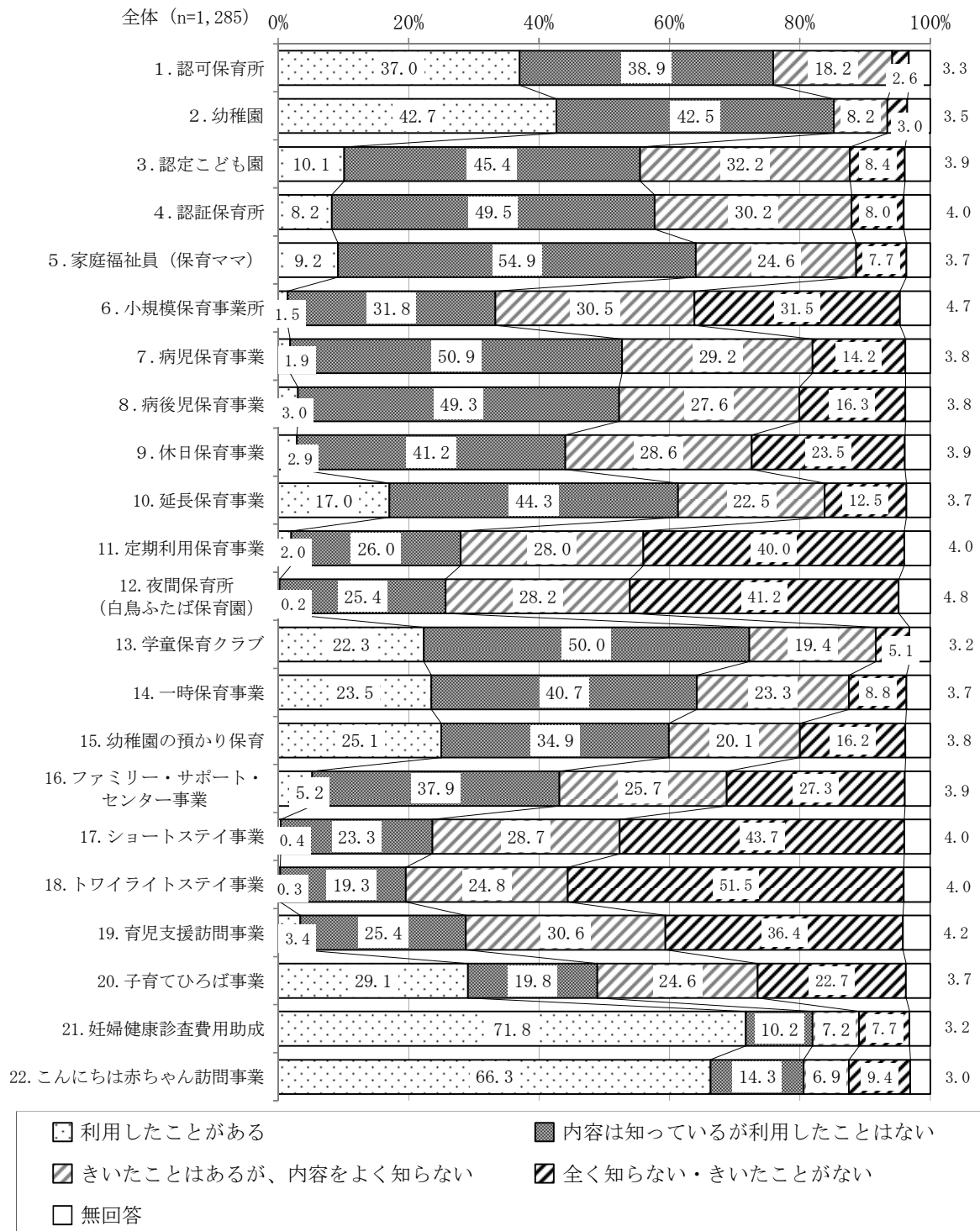
全体 (n=1, 285)

(%)



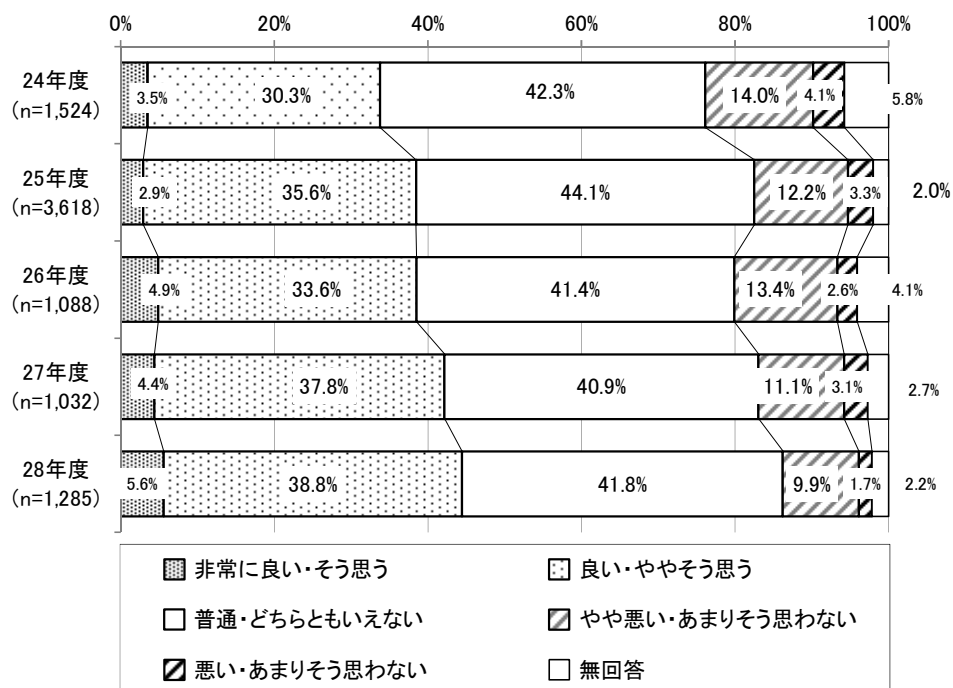
子育てに関する区の情報入手先は、「広報かつしか」が71.8%で最も多く、次いで「区公式ホームページ」が39.3%でした。その他の媒体はいずれも10%未満となっています。

(33) 区で実施している子ども・子育て支援に関する事業を知っていますか。



区で実施している子ども・子育て支援に関する事業について尋ねたところ、「妊婦健康診査費用助成」では71.8%が、「こんにちは赤ちゃん事業」では66.3%が「利用したことがある」と回答しています。一方、トワイライトステイ事業では「全く知らない・聞いたことがない」が過半数を占めたほか、「ショートステイ事業」、「夜間保育所」、「定期利用保育事業」でも「全く知らない・聞いたことがない」が4割以上となっています。

(34) 安心して子育てができる環境について、葛飾区を総合的にどのように評価しますか。
【経年変化】



総合的な評価は、「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計が 44.4%、「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・あまりそう思わない」の合計が 11.6%となっています。

子育て支援に関する意見・要望

それぞれの意見・要望を、区の子育て支援の「基本目標」に従って分類し、主な意見をまとめました。なお、文意を損なわない範囲で要約や表現の変更を行っています。

基本目標1. のびのび子育て！

- ・私立学童の内容などがまったくわからないので、HPを充実させてほしい。
- ・子供を産んで保育園へ預けようとするまで全く保育園の入園に関する情報を得る所がない。保健所で保育園の申し込みについてのレクチャーがあってもいいと思う。
- ・小菅周辺は、足立区との境目で、ほったらかしになっている。小菅周辺に保育園など子育て関連施設を増やしてほしい。
- ・保健センターがなくなったことはとても残念。児童館もなくなると聞いたがやめてほしい。公園の規制が多く、ボール遊びや自転車の練習などできるところが増えたらいいと思う。
- ・公園が多いことは良いが、樹木が大きくなりすぎて、薄暗くなっている公園が多く、防犯や事故防止の面で問題がある。
- ・共働き世帯が増えているにも関わらず、学校行事、役所手続き、健診などが平日昼間に行われており、不便。平日が当たり前という感覚は捨ててほしい。
- ・保育士の質を向上させる取組が必要。公立認可園では、ベテラン保育士の「昔のやり方」が根付きすぎている。新しい保育理論や児童心理を学んでほしい。
- ・系統だてに全容がわかる説明会か案内など、わかりやすい情報の提供の機会が欲しい。
- ・児童館をほぼ毎日利用していますが、統合や施設の合理化などはせず、地域毎にたくさんあると良いと思います。
- ・お父様方が参加しやすいコミュニティや“パパ友”的な環境の整備が欲しい。
- ・0才（0～8ヶ月）の子の行き場がない。児童館などもベビーと3才児が一緒だと危なくて利用できないことが多い。子育てひろばも2～3才対象なのかと思う。
- ・葛飾区の子育てアプリを作してほしい。区のHPは使いづらい。
- ・保育園の数を増やしてほしい。遠くの保育園に空きがあっても意味がないので、できるかぎり希望の園に入れるよう充実させてほしい。
- ・子育て家庭への支援（クーポンやタクシー券、任意予防接種の助成など）を増やしてほしい。
- ・学童について、だいたいのが会社が9:00～なので、朝もう少し早い時間から預かってほしい。
- ・一時保育の利用を拡大してほしい。幼稚園は延長保育をやっていない日がある。保育ママが休みの時や延長したいときなど、中々利用できない。
- ・すべての小学校で放課後、わくチャレを低学年（1年生）からやってほしい。
- ・7ヶ月児の会で終了ではなく、その後も育児交流会を続けて欲しい。
- ・両親が共働きであると、平日に行われる育児グループ等に参加できないことが多いので、休日に同じ月齢のこどもを持つ親と交流できるイベントがあれば嬉しい。
- ・保育園より、幼稚園の一般入園を増やして欲しい。
- ・区を通して保育所の申し込みを行うという手続きに一元化されてしまうと、保育園に入れることを優先して週5日フルタイム就労や4月に合わせて前倒しで職場へ復帰せざるを得ない。もう少し子どもと向き合う時間が欲しい。多様性を認めた子育て支援策を考えてほしい。
- ・仕事の都合で保育所や幼稚園へ見学に行くことが出来ない。出来る限り情報提供してほしい。
- ・母親同士で交流できるイベントを、図書館や児童館で企画してほしい（親子連れで簡単な自

己紹介やゲーム・グループワークなど)。空いている施設（図書館や児童館・公園など）を開放してイベントをしてほしい。

基本目標2. すこやか子育て！

- ・病児保育が2箇所しかなく、自動車を保有していないと利用すらできない。公共交通機関や自転車での長距離移動は、共に罹患している保護者にとっても過酷。民間病児保育は利用料でパート給与者の数日分が飛ぶ。
- ・育児相談の機会、またそれを知る機会を増やしてほしい。
- ・アレルギーや病気で気軽に相談できる所があるとうれしい。
- ・母乳の飲ませ方がヘタだったが、助産師さん訪問で飲ませられるようになったとき、本当に嬉しかった。今後も産後ママのサポートをよろしくお願いします。
- ・未就学児童への発達障害などの療育機関の情報提供およびウェルピアで検査後の対応が不十分。就学後の不登校や引きこもり等の二次障害を防止する為、療育施設の充実と情報提供、そして療育費用の軽減（親の負担を減らす）をしてほしい。
- ・相談の受付対応は早めだが、発達検査などは時間がかかり、待ち日数が長い。検査結果後、次のステップに進みたくても、受け入れ可能な訓練所や施設が少ない。
- ・専業主婦で、子育てについてどこに相談してよいかわからなかったときに児童館の存在は非常に大きく、子どもが小さく大変な時期、支えてもらった。子ども達がのびのび遊べる児童館を増やしてほしい。
- ・発達障害に関して、関心のある保護者が増えている一方で、それらの子ども達をサポートしてもらえる施設の枠が少ない。障害が軽度やグレーの場合、なかなか対応してもらえない。
- ・初めての子育てで出産直後は特に不安だらけだったが、葛飾区の2ヶ月児の会をきっかけに、ママ友も出来て、毎月の集まりが楽しみだった。
- ・子育て支援の施設は充実していると感じている。児童館は幾つもあり、それぞれアイデアいっぱいのイベントを開催していただき楽しませてもらった。現在は仕事復帰&保育園なので、土日で開催しているイベントに参加をしてみたい。
- ・新米ママはベテラン保育士のアドバイスを疑うことなく鵜呑みする。悩む新米ママにもっと親身になって赤ちゃんの様子をもっと聞いて、その上でアドバイスをしてほしい。
- ・育児・栄養相談の待ち時間が長すぎる。早めに行っても40分待たされる。保健師の知識不足が気になった。
- ・10ヶ月の歯の健康相談は月齢的にじっとしてられないので、親はその対応に追われ、ほとんど話を聞けていない。キッズスペースを設けるか、きちんと話を聞ける体制づくりが必要。
- ・金町子どもセンターの職員の方の異動が多く、子どもが赤ちゃんの頃から知ってくださる方がいなくなってしまい寂しい。子どもも人見知りするので慣れた頃にいなくなると戸惑う。

基本目標3. いきいき子育て！

- ・小学校にあがると、会社の時短制度等も適用されなくなる。学童保育の終了時間が早いと困る。定時にあがっても地元に着くのが19時を過ぎる。学童の保育時間の改善を早急にしてほしい。夏休み期間中も。
- ・保育園までは手厚く、保育時間に関しても働きやすい環境が整っていると思うが、卒園して学童になると急に時間の壁で思うように働けなくなる。時短勤務も小学校に上がる前で終わるところが多いようだし、もう少し小学校低学年のサポート環境を整えてほしい。

- ・パパがより早い段階での子育てに関われるような施策があると、両親で子育てを楽しめるのではないかと思う。それができればママのストレスも減り、虐待防止につながる。
- ・小学生に上がると急に支援が少なくなるため、保育園で感じていた安心感をそのまま小学校に上がれると望ましい。例えば、保育園を小学2年生まで利用できるとか、公立学童終了後、どこかで預かってくれるなどのサービスがあれば安心できると思います。
- ・学童はフルタイム就労できれば入所できる可能性が高いが、そのことを悩んでいても周囲からは、そこまでして働く必要があるのかと「低収入者」のレッテルを貼られたり、価値観の違いを押しつけられたりする。女性が男性と対等に働くためには、そしてワークライフバランスを考えるのなら、日本全体で仕事の仕方、あり方を根本から変える必要があると思う。
- ・今の幼稚園は、平日PM5：00まで。またお盆や正月を除いての長期休みでは、延長保育を行ってくれ助かる。パート勤務のため、学童に入れるか不安。

基本目標4. あんしん子育て！

- ・小児科が少ない。
- ・まだまだ区内で喫煙しながら歩いている方を見かける。妊婦の方や、小さな子供たちが近くを歩いていると、とても危なく感じる。
- ・子育て広場「いろは」のような場所を増やしてほしい。午後も乳幼児が遊べるので、とてもありがたい。
- ・“サッカーのまち”とうたうなら、サッカーのできる公園を増やしてほしい。
- ・児童館や公共の場での赤ちゃん向け施設が古く、安全性が行き渡っていないと多々感じる。電源プラグカバーがされていない、子供の手の届く所に職員用の事務用品が置いてある等。
- ・街全体では、ベビーカーで入りやすい施設が少ないと感じる。児童館はベビー専用の部屋がないため、午後になると小学生と同室になり、危ないので退出せざるを得ない。6ヶ月未満の子供連れが集まりにくい仕組みなのがとても残念。
- ・公園に子供が遊びたくなる遊具を設置してほしい。
- ・小学校に授業外で、別の講師で寺子屋をやってほしい。学力が身につくような仕組み作りを考えてほしい。
- ・幼稚園児が楽しく遊べる公園が多くてとても良いが、もう少し公園で遊ぶ際の規制が少ないと良い。
- ・にいじゅくプレイパークのような公園を区内を増やして欲しい。
- ・ウィスク検査を全員に受けさせてほしい。一人だけ受けるのは自分の子供が障がい児だと言われているみたいでショックだと相談を受けたことがある。
- ・妊婦健康診査費。病院によっては用紙があっても7～8千円毎回支払う。少子化ならば不妊治療から全て無料にして欲しい。
- ・暗くて狭い道が多い。車道と歩道にガードレールがあれば嬉しい。
- ・公園の柵のある砂場でも遊んでいると犬の糞が出てきて、公園の砂場は怖くて遊べなくなってしまう。

基本目標5. みんなで子育て！

- ・夕方のチャイムの時間を、一年通して、一定にするべきだと思う。学校にサマータイムがあるわけでもないのに、夏に子どもの帰宅を遅くする意図が分からない。

- ・クリーン作戦をもっと実施して子どもたちに環境美化の意識を根付けて欲しい。
- ・区の職員たちは、建物の外でも、公園でも、どこでも、子どもたちに話しかけ、大人たちと交流を持って欲しい。
- ・ファミリーサポートについて、時間帯などの希望に沿ったサポートさん見つからないことがある。充実させてほしい。
- ・子育て交流の場をもっと各所でやれるようにして欲しい。運営許可が降りなくてサークルを続けられなかった。
- ・小学生、中学生、高校生も、幼稚園、保育園児と触れ合う機会を増やし、子どもを持つことへの理解、喜びを共有できるように様々なことを企画してほしい。

基本目標6. つながる子育て！

- ・障害児の移動時の付添について、愛の手帳を持っているのに、家から学校は送迎者をつける有料、学校から学童へは支援が受けられるのはおかしい。学校は義務教育なのだから、どの子供も通学するのに適切な支援が受けられるようにしてほしい。
- ・病気を理由に保育園入園を断られた。結局、障害児扱いならということでやっと入れることができた。育成医療にお世話になった子は普通じゃないのか？健常児も障害児も同じ子ども。
- ・障害児を育てづらい環境。公園で遊ばせづらいし、病院にすら嫌な顔をされ連れて行きづらい。障害児を理解してもらえる機会があれば良いが、どこで情報を得ればよいか分からない。
- ・保健所の対応が悪い。保健所なのに子供を預かって話を聞くこともしなかったし、傾聴できないのなら、初めから別の方（専門家）に対応してもらいたかった。
- ・ヘルパー事業を利用している。離婚後、心身共に限界を感じていた時にサービスが始まったせいか、とてもありがたく感じた。
- ・片親の人もいるのに幼稚園、こども園で親を呼ぶイベントなどはやめてもらいたい。

その他

- ・行政の方向性として5：5（高齢者：子育て世代）くらいの割合にしてほしい。
- ・子育てすると時代の変化を感じる。きっと今の時代は親世代が心が貧困なのだろう。案外あれこれ子育て環境を整えることも大切だけど、シンプルにそのありかたを考えられる方が良いのではないのかと思うこともある。
- ・子供が多くいる家庭にはもう少し助成をしてほしい。出費が重なったが、収入が多いからと助成はなかった。それならば必要最低限かかる物を支給してほしい。
- ・乳幼児検診の際にやたらダメ親認定をしたがる保健師さんがいる。公立の相談窓口や保健婦さんへの相談がしづらいのが現状。言葉は、心への暴力にかかわる事を知って頂きたい。
- ・仕事をしなくては生活できないが、子どもの面倒を見る時間がないので子どもを作りたくないという家庭が増えないように、子育て支援にもっと多くの財源を注ぎ、教育費無料にするぐらいの支援をしてもらいたい。
- ・幼少期は個性を尊重してみてくれるが、小学校→中学校となるにつれ、協調性が求められ、個性の強い子や協調性に欠ける児童は学校からどんどん弾かれていく。最近の小中は体裁ばかりを気にしているように感じられる。
- ・小学校でのPTA活動がとても大変で困る。共働きの世帯が多いなか、PTAの活動について何故、どこまで行わなくてはいけないのか、困惑している。時代と共に活動の見直しが必要。